

近代中国研究センター

彙報

16

1973



東洋文庫



も く じ

山根幸夫：五四文学革命文献目録	1
吉田寅：東洋キリスト教史研究文献目録	11



## 五四文学革命文献目録

山 根 幸 夫

本目録は、私が別に編纂した「五四運動文献目録」(史論26.27, 1973)と併せて、一対をなすものであるから、ぜひ両者を併用していただきたい。全体を単行本・論文に分け、更に日本人の著作・論文と、中国人のそれとに分けた。配列は著者の姓名の五十音順にしたかった。

文学革命というと、魯迅が連想されるが、魯迅および彼の著作については龍大な文献がある。それだけで立派な一冊の目録になるほどの量がある。それ故、魯迅については、五四期に限定して採録したつもりである。著作でいえば、「狂人日記」「藥」「阿Q正伝」および「吶喊」などに限った。その意味では、すこぶる不完全なものになってしまったことをお詫びしておきたい。

魯迅以外の、陳独秀・李大釗・蔡元培・胡適らについては、必ずしも五四期のみ限定せず、かなり広範囲に亘っており、不統一を免れ難いが、上述のように、魯迅に関する文献の量が多すぎるために、このような方法を採用の結果になってしまった。

## 〔単行本〕

尾坂 徳司	中国新文学運動史——政治と文学の交点・胡適から魯迅へ	法政大学出版局	1957
熊野 正平	現代中国思潮講話	桜門出版社	1948
高橋 勇治	中国人民革命の研究	弘文堂	1957
西 順藏 (編) 島田 虔次	清末民国初政治評論集 (中国古典文学大系58)	平凡社	1971
増田 渉	中国文学史研究——「文学革命」と前夜の人々	岩波書店	1967
増田 渉 (編)	五・四文学革命集 (中国現代文学選集3)	平凡社	1963
松井 等	支那現代思潮 (岩波講座『東洋思潮』)	岩波書店	1935
丸山 松幸	五四運動——その思想史	紀伊国屋書店	1968
丸山 松幸 齋藤 道彦	李大釗文献目録付選集未収資料	東大東洋文化研究所東洋学文献センター刊行委員会	1970
メイスナー 丸山・上野 (訳)	中国マルクス主義の源流——李大釗の思想と生涯	平凡社	1971
森 正夫	李大釗 (中国人物叢書)	人物往来社	1967
蔡 子 儀 金子 二郎 (訳)	中国新文学史講話	法律文化社	1955
胡 適 矢野 龍一 (訳)	中国の文芸復興	始源社	1947
胡 適 主 西彦	論阿Q和他の悲劇	新文芸出版社	1957



何 幹之	魯迅思想研究	三聯書店	1950
華 崗	魯迅思想的邏輯發展	新文芸出版社	1953
郭成 沫若 仿吾	從文学革命到革命文学 (創造社叢書第24種)	創造社出版部	1928
許 欽文	“吶喊” 分析	中国青年出版社	1956
高 乃同	蔡子民先生伝略	重慶商務印書館	1943
耿 庸	「阿Q正伝」研究	泥土社	1953
蔡 元培	蔡元培選集	中華書局	1959
蔡 尚思	蔡元培學術思想伝記——蔡元培与中国學術思想界	棠棣出版社	1950
沈 鵬年 (編)	魯迅研究資料編目	上海文芸出版社	1958
孫 常煒 (編)	蔡元培先生全集	台湾商務印書館	1968
中華全国文 芸協会 (編)	五四談文芸——文協十周年暨文芸節紀念特刊	新華書店	1948
中国電影工 作者聯誼会 (編)	五四以来電影劇本選集	中国電影出版社	1959
丁 守和 殷 叙彝	從五四啓蒙運動到馬克思主義的伝播	三聯書店	1963
田 仲濟	五四新文学運動的精神	山東人民出版社	1949
北京大学中 文系五六級 四班 (編)	五四散文選講	中国青年出版社	1959
〃	五四小説選講	〃	1959
香港中国文 化学院 (編)	对五四文化運動的真實評価	中国文化学院	1953

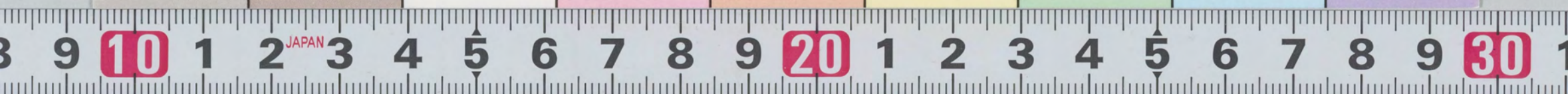
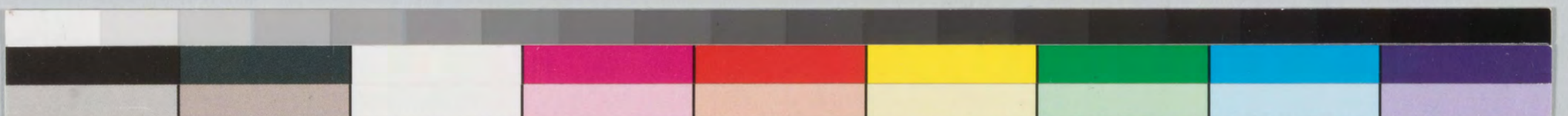
## 〔論 文〕

相浦 泉	中国近代文学の誕生と魯迅・胡適・陳独秀	野草1	1970
荒木 修	「狂人日記」について	高知中国学会報1—1	1952
井貫 軍二	中国のルネッサンス——胡適を中心とする文学革命	教育時報 (西宮市教委) 1	1952
〃 (講)	胡適の「文学革命」について	史学研究 (新) 4	1950
伊東 昭雄	魯迅の思想形成をめぐって——章炳麟との関係を中心に	日本大学文理学部 研究年報14	1965
伊藤 秀一	胡適の思想について——「五四」文化革命の一考察	中国研究3	1957
〃	進化論と中国の近代思想 (1, 2)	歴史評論 123, 124	1960
伊藤 正文	「狂人日記」論	近代1	1952
猪股 庄八	魯迅伝覚書——狂人日記発表(1918)から女師大事件(1925)まで	北海道大学文学部紀要12	1964
飯塚 朗	阿Q正伝雑評	中国文学月報20	1936
石井 敏之	「阿Q正伝」論	横浜市立大学学生論集5	1958
石山 福治	支那ニ於ケル文化運動ノ研究	東亜經濟研究4—2	1920
今村与志雄	五四前後の思想状況の一側面——李大釗に即して	都立大学人文学報25	1961

上原 専録	蔡元培との三十日	世界68	1951
小野田耕三郎	阿Qの蛻変——近代中国文学に現われた人間像	天地人 6	1953
尾上 兼英	魯迅	『中国の思想家』	1963
王 育徳	文学革命の台湾に及ぼせる影響	日本中国学会報11	1959
大高 巖	支那新文学運動の展望(1—12)	満蒙15—8~12, 16 —1~4, 6, 7, 11	1934—35
大原 信一	魯迅と白話文運動	人文学38	1958
岡崎 俊夫	「文学革命」摘要	東洋文化研究所紀要11	1956
神谷 正男	中国における文化運動の史的段階	中国文学47	1939
かわかみひ さとし	熱風について——五四前夜の魯迅	小樽商大人文研究 3	1952
〃	魯迅文学の根源的なもの——「熱風」に現われたる	華僑文化49	1952
木村 靖子	陳独秀執筆活動年譜	近代中国研究センター彙 報 2	1963
儀我壯一郎	狂人文学と「狂人日記」	中国研究12	1956
許 広平	「五四」時代の魯迅の文学活動	人民中国 5	1959
国枝 稔	白話運動と習作期の新詩形について	岐阜大学学芸学部研究報 告(人文科学) 9	1960
後藤 延子	李大釗における過渡期の思想——「物心両面の改造」について	日本中国学会報22	1970
高 義政	「阿Q正伝」をめぐる	熱風 1	1971
近藤 邦康	「民国」と李大釗の位置——辛亥革命から五四運動へ	思想477	1964
〃	譚嗣同と李大釗——「衝決網羅」を中心に	『現代アジアの革命と法』	1966
近藤 春雄	現代支那文学の発端——文学革命について	満蒙22—8	1941
里井彦七郎	李大釗の出発——「言治」期の政論を中心に	史林40—3	1957
さねとう けいしゅう	中国の打倒孔子運動	国民の歴史 2—4	1948
重沢 俊郎	中国の新文化とルネッサンス	中国文化 4	1948
嶋本 信子	五四期における十月革命の影響——李大釗の思想を通して	史論14・15	1966
鈴木 沢郎	延安における文化革命と五四運動	愛知大学文学論叢 1	1949
田中清一郎	魯迅の精神を形成するもの	東京外国語大学論集 2	1952
田所 義行	陳独秀	『中国の思想家』	1963
高田 昭二	魯迅「狂人日記」について	東京支那学報 5	1959
高橋 勇治	近代中国ルネッサンス	社会科学研究 2—2	1950
〃	近代中国ルネッサンス(2)——反儒教運動を中心として	社会科学研究 2—4	1951
竹内 好	文学革命——魯迅の文学史的背景	中国文学105	1948
〃	中国の近代と日本の近代——魯迅を手がかりとして	『東洋的社会倫理の性格』	1948
竹内 芳郎	魯迅——その文学と革命	文芸 6—5	1967
竹田 晃	胡適における啓蒙思想の形成——伝記資料にもとづいて	『近代中国の思想と文学』	1967
竹田 復	胡適	『中国の思想家』	1963
鳥居 浩子	五四運動と新潮社	お茶の水史学13	1970

中野美代子	恐怖の本質——アンドレーエフ「血笑記」と魯迅「狂人日記」	野草5	1971
中山久四郎	現代支那の孔子教問題について	東亜論叢2	1940
新島 淳良	五・四時代の陳独秀の思想	思想380	1956
西 順蔵	李大釗	一橋論叢45—4	1961
野沢 俊敬	「菜」の世界——革命と文学とそして青春と	熱風1	1971
〃	「菜」の世界——若き魯迅と革命党	熱風2	1971
野原 四郎	中国におけるヒューマンイズムの伝統	『現代ヒューマンイズム講座』3 『アジアの歴史と思想』	1957 1966
〃	胡適氏と儒教	『東洋文化講座』3 『アジアの歴史と思想』	1948 1966
野村 浩一	近代中国の思想家——李大釗とマルクス主義	思想464	1963
〃	「五四」時代のナショナルな思想——李大釗について	思想453	1962
前田 浩子	陳独秀の思想	寧楽史苑12	1963
牧戸 和宏	魯迅における「狂人日記」の位置	野草5	1971
増田 渉	魯迅雑記——思い出を中心に	中国文学99~102	1947
〃	文学革命	『アジア問題講座』11	1939
松本 英紀	新文化運動における陳独秀の儒教批判	立命館文学299	1970
丸山 昇	魯迅における革命の意味	文学32—12	1964
〃	「狂人日記」	『中国の名著』	1961
丸山 松幸	アジア・ナショナリズムの一原型——李大釗のアジア論について	歴史評論113	1960
〃	陳独秀と李大釗	『近代中国の思想と文学』	1967
〃	李大釗の思想とその背景——思想の体系化と実践との関係について	歴史評論87	1957
森 正夫	李大釗と「世界の資本主義」	高知大学学術研究報告 (人文科学) 18—11	1970
八巻 佳子	蔡元培——その思想と行動と	お茶の水史学6	1963
山口 栄	胡適と新文化運動	岡山史学24	1971
山田 敬三	魯迅の役人時代(上, 下)——その蹉跌から呐喊まで	野草4, 5	1971
横山 英	ロシア十月革命と中国	別府大学史学論叢4	1969
〃	五四文化運動前夜の復古的イデオロギー	広島大学文学部紀要28—1	1968
横山 永三	魯迅ノート——「故郷」を中心として	山口大学文学会誌16—1	1965
郁 達夫 猪股 庄八(訳)	五四文学運動の歴史的意義	中国文学月報54	1939
何 幹之 岡本 隆三(訳)	魯迅思想研究——無抵抗主義	中国語雑誌6—4・5・6	1951
胡 秋原	五四文学運動の歴史的意義	中国文学95	1946
高 滔 岡本 武彦(訳)	五四運動と近世支那文学	東洋文化185, 186	1940
蔡 元培 増田 渉(訳)	私の北京大学に於ける経歴	中国文学月報61	1940

- |                    |                                    |                       |            |
|--------------------|------------------------------------|-----------------------|------------|
| 蔡和森<br>池上貞一(訳)     | 陳独秀主義を論ず                           | 愛知大学国際問題研究所<br>紀要39   | 1966       |
| 李<br>斎藤大剣<br>道彦(訳) | 私のマルクス主義観(上, 下)                    | 桜美林大学中国文学論叢<br>2, 3   | 1970, 1972 |
| 朱其華<br>天野元之助(訳)    | 中国におけるブルジョア・イデオロギーの史的発展            | 満鉄支那月誌8—8~<br>12, 9—1 | 1931-32    |
| 以群                 | 論魯迅前期文芸思想的発展                       | 學術月刊4                 | 1957       |
| 〃                  | 胡適在「五四」文学革命中做了些什麼?                 | 文芸月報28                | 1955       |
| 〃                  | 從文学改良到陣前叛变——剖視“五四”文学革命中的資產階級知識分子胡適 | 學術月刊5                 | 1959       |
| 〃                  | “五四”文学革命的光輝傳統                      | 文芸月報5                 | 1959       |
| 〃                  | “五四”文学革命的思想領導                      | 文学評論2                 | 1959       |
| 易嘉                 | 五四和新的文化革命                          | 北斗2—2                 | 1932       |
| 渭柳                 | 孫思白同志所著《陳独秀前期思想的解剖》的錯誤何在           | 歷史教学5                 | 1965       |
| 郁達夫<br>金兆梓(等)      | 五四文学運動之歷史的意義                       | 文学1—1                 | 1933       |
| 殷海光                | 胡適思想与中国前途                          | 歷史語言研究所集刊28下          | 1957       |
| 殷塵                 | 錢玄同先生的學術思想                         | 圖書月刊1—3               | 1946       |
| 陰法魯                | 五四新文化運動中胡適的本相                      | 進步日報1951・5・4          |            |
| 〃                  | 胡適・杜威・羅素是怎樣開始破壞中国的新文化運動的?          | 光明日報1955・3・3          |            |
| 雲南大学中文系(訳)         | 論魯迅的現實主義                           | 人文科学雜誌6               | 1958       |
| 恽代英                | 怎樣創造少年中国                           | 少年中国2—1, 3            | 1920       |
| 燕吾                 | 論「五四」新文化運動                         | 反帝戰線6—2               | 1941       |
| 王錦泉                | 論「五四」前夕文学運動的性質                     | 南開大学學報4               | 1957       |
| 王慶生<br>陳安湖         | “五四”時期的文化革命与文学革命                   | 理論戰線5                 | 1959       |
| 王元驤                | 对阿Q典型研究中一些問題的看法                    | 文学評論3                 | 1964       |
| 王之昌                | “五四”文化運動是誰領導的?                     | 新建設2—6                | 1950       |
| 王若人                | 五四運動中的胡適和杜威                        | 新華月報1                 | 1955       |
| 王若麟<br>陳育德         | 關於阿Q“革命性”問題及其他——与周天・無宜兩同志商榷        | 學術月刊2                 | 1959       |
| 王森然                | 劉師培評伝                              | 国風4—9                 | 1934       |
| 〃                  | 錢玄同先生評論                            | 朔風12                  | 1939       |
| 王治秋                | 五四時代的魯迅先生                          | 知識与生活10               | 1947       |
| 王廸                 | 「五四」前夕訪趙家樓                         | 光明日報1959・5・4          |            |
| 王平陵                | 五四以来中国小説的発展                        | 大学生活5—1               | 1959       |
| 王芳麟                | 略談五四時期的文学                          | 安徽文学9                 | 1959       |
| 王瑤                 | 「五四」新文学所受外国文学的影響                   | 新建設2                  | 1959       |
| 汪東                 | 劉師培伝                               | 国史館々刊2—1              | 1949       |



温 凌	“五四”時期關於戲曲的論争	戲曲研究 2	1959
何 幹之	五四以來胡適派怎樣歪曲了中国古典文学	光明日報1955・1・7	
〃	魯迅論兩種文芸——魯迅的文芸論之一	文萃叢刊 2—2	1946
何 其芳	論阿Q	新華半月刊97	1956
夏 康農	聞一多教授的遇難与魯迅的「藥」	文萃叢刊45	1946
賈 芝	李大釗同志二三事	新觀察13	1956
艾 思奇	新啓蒙運動与支那的自覚運動	文化食糧創刊号	1936
郝 孚逸	論文化革命和古今問題——紀念五四運動四十周年	學術月刊 5	1959
郭 四海	五四運動初期新小説創作理論窺探	南洋大学中国語文学報 2	1969
郭 正昭	「中国科学社」与中国近代科学化運動(1915—1935)	中国現代史專題研究報告1	1971
郭 沫若	我們的文学新運動	創造 3	1923
郭 預衡	魯迅研究中国文学史的觀點和方法	新建設10	1961
葛 益娟	五四運動以後中国之文学	金陵女子文理学院21年校刊	1932
葛 寧賢	对五四文学革命的新認識	中国一周106	1952
M・葛魯商茨	1918年末~1919年初中国知識分子中間的思想闘争	人文雜誌 2 史学月刊 4	1959 1960
韓 允符	從「白話文学史」中看胡適对語言的見解的反動性質	東北人民大学人文科学学报 1	1955
韓 北屏	茅盾先生談「五四」	文萃叢刊 1—28	1946
翰 先	談「孔乙己」中的一句話	語文學習 1	1951
季 石	五四以後的文人	滬大月刊 2—1・2	1934
魏 薇	魯迅与「阿Q正伝」	中国文芸 5—6	1942
匡 裕從	五四前後的李大釗思想	史学月刊 5	1958
金 達凱	新文学運動与新文学問題——中共批判胡適文学思想的分析	民主評論 6—23	1955
金 耀基	胡適与中国現代化運動	大学生活121	1962
欽 文	讀「藥」新感	人民文学 4—6	1951
虞 君質	五四以來中国文芸思潮的批判	文芸創作37	1954
阮 字桂	「狂人日記」的社会意義	人文雜誌 5	1959
胡 繩	五四文化運動中的革命精神	光明日報1950・5・7	
胡 風	「五四」時代底一面影——評劉復著『半農雜文』第1冊	文学 4—4	1935
孤 桐	評新文化運動	甲寅週刊 1—9	1925
〃	答適之——論白話文学運動	甲寅週刊 1—8	1925
〃	答稚暉先生	甲寅週刊 1—22	1925
〃	再答吳稚暉先生	甲寅週刊 1—27	1926
吳 玉章	回憶“五四”前後我的思想轉變	光明日報1959・4・30	
吳 大猷	胡適之先生和中国科学的發展	新時代 2—3	1962
吳 沢	「五四」前後「疑古」思想的分析和批判	歷史教学問題 4	1959
吳 兵	五四運動与中国創作小説	中国文芸 3—6	1954



吳芳吉	胡適八不主義似是而非	学粹10—6	1968
高全朴·張豈之	“五四”時期李大釗同志反对資產階級改良主義的鬭爭	歷史研究6	1959
“	五四運動期間李大釗的馬克思主義宣傳活動	歷史教学5	1959
高滔	五四運動与中国文学	文学2—6	1934
高名凱·徐通鏘(等)	五四運動与白話文問題	北京大学学报(人文科学)3	1959
侯外廬	「五四」文化運動与『孫文学說』的關係	中華論壇5·6	1945
黃進德·盛思明 胡慶榮·楊芝芳 (執筆)	魯迅小說裡的知識分子形象	文芸報163	1956
黃照熹	中国報紙五四以来的文芸副刊	大千雜誌1	1943
黃葉民	胡適的反動文学思想批判	新建設4	1955
合肥師範学 院歷史系	五四新文化運動簡述	安徽文学5	1959
齊伯岩	五四運動与新啓蒙運動	讀書月刊1—2	1937
蔡健	關於阿Q性格	北京大学学报(人文科学)1	1958
蔡尚思	“五四”前後東西文化問題的大爭論	學術月刊5	1961
之光	五四以来的中国語文運動	清華週刊44—5	1937
史群	不許為叛徒陳独秀爭歷史地位——評孫思白的《陳独秀前期思想的解剖》	歷史教学6	1965
施復亮	四〇年前浙江新思潮	光明日報1959·4·18	
侍桁	文学革命者的胡適的再批判	中山文化教育館季刊2—2	1935
朱代	「孔乙己」的写作藝術	語文學習37	1954
周弘然	五四時代的個人主義思想	自由太平洋8—5	1964
周紹賢	關於文学革命	学粹12—3	1970
周天	談談我对阿Q性格的一些理解——答復王若麟·陳育德兩同志	學術月刊6	1959
周德偉	五四運動与科学化運動	新天地1—3	1962
周揚	發揚「五四」文学革命的戰鬥傳統	人民文学55	1954
周莉冰	「阿Q正傳」的社会思想	歷史社会2	1947
徐盈	記胡適之(1, 2)	文訊月刊7—3, 4	1947
徐民謀	通俗文与白話	東方雜誌17—5	1920
邵荃麟	魯迅的「野草」	国文雜誌3—4	1945
“	關於“五四”文学的歷史評價問題	新華半月刊9	1959
蔣孔陽	談談阿Q的典型性問題	學術月刊8	1958
蔣全国	我的新旧文学觀	東方雜誌17—8	1920
葉青	五四文化運動的檢討	文化建設1—8	1935
葉鵬	論『阿Q正傳』	文芸月報10	1956
鍾敬文	胡適在新文学運動上作用的重新估價	新建設3	1955
蕭宗干	魯迅的知識分子觀	讀書月報1, 2	1958
辛笛	阿Q問答	文芸復興2—3	1946
沈灌群	李大釗同志的革命教育活動和教育觀點	華東師範大学学报1	1959

沈 鑑	五四時代的思想自由	大学月刊 3—5・6	1944
沈 鵬年	魯迅在“五四”以前对文壇逆流的鬭爭——關於他和通俗教育研究会關係的一般史實	學術月刊 6	1963
振 甫	魯迅《狂人日記》的思想意義	語文學習 4	1959
成 仿吾	文学革命与趣味	洪水 3—33	1927
〃	從文学革命到革命文学	創造 1—9	1928
雪 石	「五四」時期魯迅先生的革命精神	歷史教学 5	1952
川 島	說《藥》	語文學習 9	1959
曾 文経	“五四”運動前後胡適的政治面目	新華月報 1	1955
宋 雲彬	五四時代之反儒家運動	文化雜誌 2—2	1942
臧 克家	『五四』以來新詩發展的一個輪廓	新華月報 4	1955
孫 起孟	魯迅的「孔乙己」及其他(1, 2)	讀書与出版 3—4, 6	1948
〃	有關魯迅「吶喊」自序的幾點討論	讀書与出版 3—3	1948
孫 思白	試論五四文化革命的分期及其前後期的轉化	歷史研究 2	1963
孫 怒潮	五四与文学	前途 1—5	1933
孫騰芳・陳劍淦	“五四”新詩的歷史評價	厦門大學學報(社会科学) 2	1959
譚 彼岸	論晚清白話文運動並批判胡適的『白話文外來論』	中山大學學報(社会科学) 2	1955
談 陽	“五四”前後的陳独秀思想	史學集刊 2	1956
知 堂	關於阿Q	中国文芸 2—1	1940
張 琴南	五四前後胡適的反動面目	『五四運動文輯』	1957
張 若達	五四時期的胡適其人	歷史研究 6	1959
張 俊彦	李大釗与新文化運動	歷史研究 8	1959
張 申府	五四紀念与啓蒙運動	認識月刊創刊号	1937
張 西曼	「民主」与「科学」是中国革命的兩大目標	民主与科学雜誌 1—1	1945
張 畢來	「文学革命論」及其作者当年的思想——兼論1917年「文学革命」的本質	新中華 14—18	1951
〃	“五四”時期陳独秀思想的特徵	光明日報 1955・6・7	
趙 希鼎	五四運動時期的思想解放	史學月刊 5	1959
陳 安湖	論『狂人日記』的思想	文芸月報 10	1956
陳 筦樞	評新文学運動書後	甲寅週刊 1—20	1925
陳 紀澄	胡適之先生与文学革命	暢流 6—8	1952
〃	泛論五四及新文芸運動	文芸創作 49	1955
陳 旭麓	論“五四”初期的新文化運動	歷史教学問題 5	1959
陳 思苓	魯迅的詩歌理論及其詩歌批評	四川大學學報(社会科学) 1	1956
陳 善学	略論陳独秀的一生	歷史教学問題 2	1958
陳 則光	中国近代文学的社会基礎及其特徵	中山大學學報(社会科学) 1・2	1959
陳 伯達	論五四新文化運動	認識 1	1937
陳 涌	論魯迅小說的現實主義——『吶喊』与『彷徨』研究之一	人民文学 61	1954



- |                      |                                 |                 |      |
|----------------------|---------------------------------|-----------------|------|
| 丁 易                  | 共產主義領導了五四新文化運動                  | 光明日報1950·5·4    |      |
| 〃                    | “五四”文学革命運動試論                    | 新建設1—10         | 1950 |
| 丁守和·殷慶彝              | 五四新文化運動                         | 歷史研究4           | 1959 |
| 貞 晦                  | 文学革命的商榷                         | 東方雜誌17—3        | 1920 |
| 鄭 学稼                 | 論「文学革命」                         | 文芸2, 3          | 1969 |
| 杜 呈祥                 | 胡適之先生与新文学運動                     | 民主憲政2—2         | 1951 |
| 唐 毅                  | “五四”時期的魯迅——魯迅雜文所反映的五四的歷史意義与時代精神 | 學術月刊5           | 1959 |
| 〃                    | 論阿Q的典型性格——批判馮雪峯反現實主義反階級論的文芸觀點   | 文芸研究2           | 1958 |
| 唐 紹法                 | 魯迅与中国新文化的方向                     | 新文化1—2          | 1950 |
| 陶 希聖                 | 由五四運動談到通俗文化                     | 大眾知識1           | 1936 |
| 鄧 艾民                 | 「五四」時期關於科学与人生觀的論戰               | 北京大學學報(人文科学)3   | 1959 |
| 鄧 広銘                 | 胡適在五四運動中究竟起什麼作用?                | 光明日報1959·4·30   |      |
| 任 卓宣                 | 五四文化運動与陳独秀                      | 筆匯月刊1—1         | 1959 |
| 〃                    | 評陳独秀底反孔排儒論                      | 東西文化10          | 1968 |
| 任 訪秋                 | 談談五四文学革命運動在思想上的領導問題             | 新中華14—9         | 1951 |
| 巴 人                  | 魯迅小說的藝術特点                       | 文芸報165          | 1956 |
| 馬時粹(H. Mast)         | 五四運動前後之戴季陶与中山主義及馬克思主義           | 中国現代史專題研究報告1    | 1971 |
| 范 寧                  | 略談“五四”以来的中国古代文学研究               | 文学遺產選集3         | 1960 |
| 潘 穎舒                 | 關於魯迅「故鄉」的幾個問題                   | 文史哲3            | 1953 |
| 万 發雲                 | 「五四」時期的胡適                       | 中学歷史教学2         | 1958 |
| 傅 斯年                 | 「新潮」之回顧与前瞻                      | 新潮2—1           | 1919 |
| 馮 契                  | 論所謂“科学与玄学的論戰”                   | 學術月刊5           | 1959 |
| 馮 雪峰                 | 論『阿Q正傳』                         | 人民文学4—6         | 1951 |
| 〃                    | 魯迅生平及他思想發展的梗概                   | 文芸報4—11·12      | 1951 |
| 馮 文炳                 | “阿Q正傳”                          | 東北人民大學人文科学學報2·3 | 1957 |
| 〃                    | 關於阿Q正傳研究                        | 吉林大學人文科学學報4     | 1959 |
| 閔 繁葆                 | 文学革命的回顧                         | 正中校刊32          | 1935 |
| 方 回                  | 記新發現的「湘江評論」                     | 歷史研究2           | 1954 |
| 北京師範大學中文系四年級三班科学研究小組 | “女神”的“五四”精神                     | 北京師範大學學報(社会科学)3 | 1959 |
| 卜 林扉                 | 論《狂人日記》                         | 文学評論1           | 1962 |
| 無 宜                  | 反对阿Q典型性研究中的修正主義                 | 學術月刊10          | 1958 |
| 蒙 樹宏                 | 魯迅与文学革命運動                       | 人文科学雜誌3         | 1957 |
| 〃                    | 關於“狂人日記”                        | 雲南大學學報(人文科学)1   | 1958 |
| 尤 琴                  | 中国共產党与「五四」新文学運動                 | 光明日報1951·6·30   |      |
| 羊春秋·王忠祥              | “五四”以来的新文学对民族文学傳統的繼承和發揚         | 理論戰線5           | 1959 |

楊 晦	「五四」以来中国新文芸運動与社会運動の關係	大学月刊 6—1	1947
楊 承彬	胡適和白話文運動	現代学苑 6—8	1969
羅 思鼎	學習魯迅批判孔家店的徹底革命精神——紀念偉大的革命家・思想家・文学家魯迅誕生九十周年	光明日報1971・9・26	
羅 蓀	文化革命的偉大旗手魯迅——紀念五四運動四〇年	文芸月報 5	1959
樂 黛雲	五四以前の魯迅思想	新建設 2	1958
李 何林	五四時代文学作品中的社会主义現實主義の萌芽	光明日報1954・5・4	
〃	五四以来中国文芸思想の發展	理論与现实 2	1939
〃	五四以来中国新文学性質和領導思想問題	新華月報 7 光明日報1950・5・4	1950
〃	五四時代新文学所受無産階級思想の影響	新建設 4—2	1951
〃	魯迅文芸思想の發展	南開大学学報 2	1956
李 希凡	關於『阿Q正伝』	新建設 4	1956
〃	阿Q・典型・共名及其他——対何其芳同志典型新論の再質疑	新建設 2	1965
李 漁叔	從讀書作文談到胡適博士之改良文学芻議	学粹10—6	1968
李 光燦	李大釗与「五四」	北方文化 1—5	1946
李 広田	魯迅の思想和創作	中建 3—11	1948
李 書華	胡適之先生生平及其貢獻	大陸雜誌24—10	1962
李 平心	論五四運動前後李大釗思想の發展 (1, 2)	歴史教学問題 4, 5	1959
李 竜牧	論“五四”新文化運動及其統一戦線	歴史研究 2	1962
〃	關於五四運動の幾個問題	歴史研究 3	1963
陸 雲翔 (等)	魯迅年譜	山西師範学院学報 3	1959
劉国樑・吳啟章	魯迅与“五四”新文学運動	復旦 5	1959
劉 錫三	五四以後中国各派思想家对西洋文明の態度	社会学界 7	1933
劉 綬松	五四時期的文学	語文学習 1	1958
劉 承坤	“五四”運動時期“問題与主義”の論戰	史学月刊 5	1959
劉 紹孟	李大釗同志和歴史科学	史学月刊 7	1959
劉 忠恕	就“阿Q正伝”の幾個主要問題和馮文炳教授商榷	吉林大学人文科学学報 2	1959
劉 弄潮	領導五四の主将——李大釗同志	『五四運動文輯』	1957
呂 振羽	「五四」後「中国政治思想史」研究中兩条道路的鬭争	歴史教学問題 4	1959
梁 実秋	「五四」与文芸	自由中国16—9	1957
林 鶯	魯迅論民間文学	厦門大学学報(社会科学)1	1957
林 語堂	五四以来の中国文学	中国一周846	1966
廬 湘	対馮文炳教授の“阿Q正伝”一文の意見	吉林大学人文科学学報 2	1959
無 名	五四文学運動之歴史の意義	文学 1—1	1933
(社 論)	發揚“五四”の革命精神和科学精神	光明日報1961・5・4	

〔註〕中国の雑誌は、最近ほとんど〈卷〉を廃して、西曆紀元を冠している。例えば歴史研究 1963—1 とするが如くである。本稿では、このような場合、歴史研究 3 として、1963は最後の刊行年のところに記した。

# 東洋キリスト教史研究文献目録

吉 田 寅

## 凡 例

1. 本目録は、東洋キリスト教史に関する日本人および外国人の研究成果のうち、日本語、中国語で書かれたものを収録して分類したものである。
2. 収録した論文および単行本は、日本人については明治後期以後、中国人については大略1900年以降のもので、ほぼ1973年におよんでいる。
3. 研究文献の収録にあたっては、大塚史学会編「東洋史論文要目」、東方文化研究所(→京大人文学研究所)編「東洋史研究文献類目」(→「東洋学研究文献類目」「東洋学文献類目」)などを利用していただき、その他、諸先学の研究文献に付せられている文献目録なども利用させていただいた。
4. 研究文献の分類にあたっては、便宜上、A中国、B朝鮮、C南アジアに大別した。なお、日本および中近東は、別に専門の文献目録が編集せられるべき分野であると思われるので、収録の範囲より除外した。
5. 書評は、その対象とした研究のあとにつけて収録し、[評]の記号で示した。また講演要旨あるいは発表要旨などは(講)の記号で示した。
6. 論文は、著者・論文名・掲載雑誌の名称、巻号あるいは所収論文集の書名・発表年次について記し、単行本は、著者・書名・発行所・刊行年次を記した。

## 目 次

A 中国	12	V. 現代中国とキリスト教	28
I. 文献目録・文献解説	12	VI. 周辺地域のキリスト教	31
II. 通史・概説	12	1. 満州・蒙古、他	31
III. 唐～元代のキリスト教	13	2. 台湾	32
1. 景教	13	B 朝鮮	33
2. 元代のキリスト教	15	C 南アジア	34
IV. 明・清代のキリスト教	15	I. インド	34
1. カトリック	15	II. 東南アジア	35
2. プロテスタント	22	D 補遺	35
3. 宣教師の文化事業、反キリスト教運動、他	25		

## A 中国

## I 文献目録・文献解説

石田幹之助	欧人の支那研究	共立社	1932
矢島 玄亮	宣統以前に於ける支那基督教関係書目集覧	書誌学16—1・2	1941
玉井 茂	列国の対支文化事業に関する主要文献	東亜研究所報8	1941
石田幹之助	欧米に於ける支那研究	創元社	1942
岩村 忍	支那のキリスト教に関する文献	『蒙古史雑考』(白林書房)	1943
平塚 益徳	中国ミッション教育文献考	日本学士院紀事6—1	1948
伊東 隆夫	中国キリスト教史研究上の問題	西日本史学10	1952
吉田 寅	東洋基督教史研究論文目録〔稿〕	東京教育大学東洋史学研究室アジア史研究会	1955
矢沢 利彦	中国文化史日本語文献目録——キリスト教	近代中国研究委員会	1955
吉田 久一	東洋キリスト教社会事業史研究(1)——中国(東北地区)並に朝鮮文献解題	日本社会事業大学研究紀要13	1965
矢沢 利彦	イエズス会士中国書簡編目	近代中国研究センター集報8	1966
矢沢 利彦	Lettres édifiantes の諸版本について	埼玉大学紀要(人文科学)16	1967
矢沢 利彦	中国カトリック史研究のために	上智史学13	1968
趙 天恩(編)	中国基督教史書目——初編	中国神学研究院	1970

## II 通史・概説

山内 崑	支那に於ける基督教の伝導	支那7—9・10	1915
矢野 仁一	近世支那外交史	弘文堂書店	1930
姚 宝猷	基督教在华伝教之功罪	現代史学2—4	1935
石田幹之助	支那文化と西方文化との交流	『岩波講座・東洋思潮』(岩波書店)	1936
前島 潔	支那の基督教	教文館(時の論叢書2)	1939
小林 又三	支那に於ける基督教伝道史	満鉄調査月報20—2・3	1940
王 治心 富田 鎮彦(訳)	支那宗教思想史	大東出版社	1940
比屋根安定	支那基督教史	生活社	1940
幾志 直方	〔評〕	回教圏4—11・12	1940
王 治心	中国基督教史綱	上海青年協会書局	1940
張 星娘 実藤 恵秀(訳)	西洋文化の支那への影響	日本青年外交協会	1941
溝口 靖夫	東洋文化史上の基督教	理想社	1941
玉井 茂	〔評〕	東亜研究所報10	1941

気賀 重躬	東亜基督教史	新光閣	1943
アンリ・ベルナール 松山 厚三(訳)	東西思想交流史	慶応書房	1943
佐伯 好郎	支那基督教の研究(1)~(3)	春秋社	1943-44
佐伯 好郎	清朝基督教の研究	春秋社	1949
小林 珍雄	布教と文化(第二章:大東亜共栄圏内のカトリック事情)	甲鳥書林	1943
矢野 仁一	清朝末史研究	大和書院	1944
民族学協会 調査部	伝道と民族政策	彰考書院	1944
天野敬太郎	来華西洋人の漢名	図書館界 4-3	1952
方 豪	中西交通史	中華文化出版事業委員会	1953
矢沢 利彦	東西文化交渉史	中村出版社	1957
矢沢 利彦	東洋におけるキリスト教の伝道	至文堂(東洋思想講座)	1958
楊 森富(編)	中国基督教史	台湾商務印書館	1968
張 奉箴	福音流伝中国史略(1)	台湾輔仁大学	1970

### III 唐~元代のキリスト教

#### 1. 景教

中川 正信	大秦景教流行中国碑に就いて	東洋哲学 6-5	1899
秦 敏之	唐代の西教	史学界 1-9・10	1899
池内 宏	ネストル派の支那布教	東洋時報 116~118	1908
桑原 隲蔵	西安府の大秦景教流行中国碑	芸文	1910
佐伯 好郎	景教碑文研究	待漏書院	1911
羽田 亨	波斯国尊長阿羅憾丘銘	東洋学報 3-3	1913
穴倉 保	支那に於ける一神教	東亜経済研究 4-1・2	1920
神田喜一郎	或る支那学者の景教考に就いて	歴史と地理 13-5	1924
中村久四郎	李太白楽府の景教的解釈	史学雑誌 37-2	1926
羽田 亨	景教經典序聴迷詩所経に就いて	『内藤博士還暦記念支那学論叢』	1926
桑原 隲蔵	大秦景教流行中国碑に就いて	『東洋史説苑』(弘文堂書房)	1927
桑原 隲蔵	ネストル教の僧及烈に関する逸事	『東洋史説苑』	1927
那波 利貞	唐の長安義寧坊の大秦寺の敷地に関する支那地志類の記載に就いて	史林 12-1・2	1927
馮 承鈞	景教碑考	商務印書館	1928
佐々木功成	唐代の外来宗教	竜谷史壇 1-1	1928
羽田 亨	景教經典志玄安楽経について	東洋学報 18-1	1929
石田幹之助	唐代に於ける西来の三宗教	支那 20-5・6	1929
松本 栄一	特殊なる燉煌画——景教人物図	国華 41-493, 496	1931

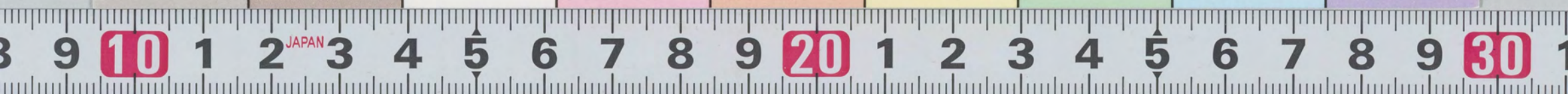
佐伯 好郎	大秦寺の所在地に就いて	東方学報(東京) 3	1932
バ ッ チ 佐伯 好郎(訳補)	元主忽必烈が欧州に派遣したる景教僧の旅行誌	待漏書院	1932
洪業(煨廉)	駁景教碑出土於盤屋説	史学年報 4	1932
佐伯 好郎	景教研究の歴史と現状	宗教研究10—2	1933
佐伯 好郎	北京宮城午門楼上に於て発見せられたるシリア文古鈔本について	東方学報(東京) 4	1933
ペ リ オ 馮 承鈞(訳註)	唐元時代中亞及東亜之基督教徒	西域南海史地考証訳叢	1934
F.S. Drake(講) 松村 寿軒(訳)	支那に於ける景教徒	満蒙16—4	1935
佐伯 好郎	景教の研究(附録参考資料)	東方文化学院東京研究所	1935
鳥居 竜蔵(講)	満州遼墓と景教との関係に就て	史学雑誌47—6	1936
中野 三男	支那に於ける景教について	歴史と地理35	1937
松本 栄一	景教「尊経」の形式に就て	東方学報(東京) 8	1938
佐伯 好郎	内蒙百靈廟附近に於ける景教の遺蹟に就いて	東方学報(東京) 9	1939
伯 希和 陸 翔(訳)	中古時代中亞細亞及中国之基督教	説文月刊 1—12	1939
佐伯 好郎	再び百靈廟附近に於ける景教遺蹟に就いて	東方学報(東京)11—1	1940
ジョン・ス チュアート 賀川 豊彦 熱田 俊彦(訳)	景教東漸史——東洋の基督教	豊文書院	1940
角野 達堂	[評]	支那仏教史学 4—2	1940
矢野 三治	景教碑考	立正大学論叢 9	1943
藤枝 晃	景教瑣記	東洋史研究 8—5・6	1944
榎 一雄	成都の石筍と大秦寺	東洋学報31—2	1947
佐伯 好郎	西教東漸の跡を顧みて	史学研究 1	1949
佐伯 好郎	景教文献及遺物目録	丸善	1950
高井 貞橘	ネストリウス破門の経緯について——景教正統論の序説として	明治学院論叢18	1951
羽田 亨	大秦景教大聖通真帰讚及び大秦景教宣元至本経残巻について	東方学 1	1951
江上 波夫	オングト部における景教の系統とその墓石	東洋文化研究所紀要 2	1951
梁 子涵	馮承鈞景教碑考裏の一点錯誤	大陸雑誌 9—12	1954
佐伯 好郎	中国に於ける景教衰亡の歴史	ハーバード・燕京・同志 社東方文化講座 7	1955
龔 天民	中国景教に於ける仏教的影響について	印度学仏教学研究 6—1	1958
梁 子涵	唐代景教之文献(上, 下)	大陸雑誌14—11, 12	1957
石田幹之助 屈 均遠(訳)	羅香林氏「景教徒阿羅憾等為武則天皇后造頌徳天枢考」述評	大陸雑誌23—11	1961
劉 偉民	唐代景教之伝入及其思想之研究	聯合書院学報 1	1962
梁 子涵	唐代景教訳経考	大陸雑誌27—7	1963
羅 香林	景教入華及其演变与遺物特徴	華岡学報 1	1965



- |   |                 |                                   |                 |      |
|---|-----------------|-----------------------------------|-----------------|------|
| 佐伯<br>井手                                      | 好郎(遺稿)<br>勝美(訳) | 極東における最初のキリスト教王国——弓月及びその民族に関する諸問題 | 史観74            | 1966 |
| 羅   | 香林              | 唐元二代之景教                           | 香港, 中国学社        | 1966 |
| 福井  | 康順              | 景教の末徒呂祖について                       | 宗教研究194         | 1968 |
| 張   | 濟猛              | 日本学者与景教經典                         | 東西文化27          | 1969 |
| 車   | 焯堃              | 唐朝景教之危難時期及其衰亡原因初探                 | 国立編訳館刊 1        | 1971 |
| <b>2. 元代のキリスト教</b>                            |                 |                                   |                 |      |
| 坪井九馬三   |                 | 也里可温                              | 史学雑誌25—11       | 1915 |
| 陳   | 垣               | 元也里可温考                            | 東方雑誌15—2~5      | 1918 |
| 陳   | 垣               | 元基督教徒之華学                          | 東方雑誌21—1        | 1924 |
| 徐   | 希徳              | 元代也里可温考                           | 中華公教青年会季刊2—2    | 1930 |
| 石田幹之助   |                 | 支那に於ける耶蘇教                         | 東洋思潮 1          | 1934 |
| 石田幹之助   |                 | (宋元時代の)耶蘇教                        | 『世界文化史大系』(宋元時代) | 1935 |
| J.M. Menzies<br>(明義士)                         |                 | 馬哥孛羅時代中国的基督教                      | 齊大季刊3・5合期       | 1935 |
| 徐   | 宗沢              | 羅瑪教廷与蒙古通西路                        | 聖教雑誌25—8        | 1936 |
| 徐   | 宗沢              | 元代之聶斯脱里異教                         | 聖教雑誌25—9        | 1936 |
| 岡島誠太郎   |                 | ファーチマ王朝と其の治下に於ける基督教               | イスラム2・3         | 1938 |
| 岩村  | 忍               | 十三世紀東西交渉史                         | 三省堂             | 1939 |
| 岩井  | 大慧              | 元代の東西交通                           | 『東西交渉史論』上(富山房)  | 1939 |
| 岩村  | 忍               | 蒙古の欧州遠征                           | 三省堂             | 1942 |
| 妹尾  | 韶夫(訳)           | リュブルック東遊記                         | 文松堂書店           | 1944 |
| ヘンリー・<br>ユール<br>東亜史研究<br>会(編)                 |                 | 東西交渉史——支那及び支那への道                  | 帝国書院            | 1944 |
| 江上  | 波夫              | 東亜に於ける最初の大宗教モンテ・コルヴァーノの伝道とその動機    | 東洋文化研究          | 1947 |
| 小林高四郎   |                 | 東西文化の交流                           | 刀江書院            | 1951 |
| 伊瀬仙太郎   |                 | 世界文化交流史                           | 金星堂             | 1953 |
| カ来愛爾維斯<br>(Cary-Elwes,<br>Columba)<br>王 敬義(訳) |                 | 明前來華的伝教士                          | 台北, 華明書局        | 1965 |
| 劉   | 光義              | 蒙古元帝室后妃信奉基督教考                     | 大陸雑誌32—2        | 1966 |
| 劉   | 義棠              | 積也里可温                             | 辺政学報 5          | 1966 |

**IV 明・清代のキリスト教****1. カトリック**

- |    |    |                 |      |      |
|----|----|-----------------|------|------|
| 浅井 | 八郎 | 聖フランセスコ・ザベリヨ書翰記 | 著者発行 | 1891 |
|----|----|-----------------|------|------|



箕作 元八 田中 義成	明の王太后より羅馬法皇に贈りし論文	史学雑誌 3—37	1892
神崎 一作	支那に於ける耶蘇教	東洋哲学 1—12	1895
坂口 昂	在支那耶蘇会に関する研究の片々	史学雑誌 10—8	1899
桑原 隲蔵	明龐天寿より羅馬法皇に送呈せし文書	史学雑誌 11—3, 5	1900
有賀 長雄	清国に於ける天主教	外交時報 30	1900
宮本平九郎	清国に於ける天主教	外交時報 30	1900
斎藤 阿具	西力東侵史	金港堂	1902
阿部 秀助	利瑪竇	史学界 5—2, 10	1903
斎藤清太郎	明末清初の耶蘇教に就て	史学雑誌 19—10	1908
山内 崑	支那に於ける基督教の伝導	支那 7—9・10	1915
中村久四郎	利瑪竇伝・(同)続編	歴史と地理 26—2・3 29 —3・5 30—1	1915 1917
矢野 仁一	支那に於ける天主教の保護権に就て	史林 1—1	1916
和田 清	利瑪竇の坤輿万国全図に就て	東洋学報 8—1	1918
村岡 典嗣	平田篤胤の神学に於ける耶蘇教の影響	芸文 11—3	1920
那波 利貞	北京阜成門外柵欄児の耶蘇会地	歴史と地理 7—3, 6	1921
高橋 邦枝	亜細亞に於ける基督教の伝播	東洋学報 12—4	1922
蕭 若瑟	天主教伝行中国考	猷鼎勝世堂	1922
桑原 隲蔵	新に発見されたカトリック教の宗論関係の二史料	史林 11—3	1926
後藤 末雄	仏国耶蘇会士の支那渡来事情	東洋学報 15—4	1926
グスターフ ・コル 鈴木 哲 (訳)	支那西教史考	向山堂書房	1926
五来 欣造	儒教の独逸政治思想に及ぼせる影響	早稲田大学出版部	1929
浅井 暹	郎世寧に就いて	北京週報 346—7	1929
徐 宗沢	明末清初灌輸西学之偉人	上海, 土山湾印書館 (聖 教雑誌叢刊)	
徐 宗沢 中日文化協 会編輯部 (訳)	明代支那に於ける西洋学術紹介の偉勲者	大連, 中日文化協会	1929
山口 正之	昭顯世子と湯若望	青丘学叢 5	1930
藤田 元春	利瑪竇の坤輿万国全図に就て	地球 15—2・3	1931
石田幹之助	郎世寧伝攷略	美術研究 10	1932
貴 修士 (編) 張 士泉 (訳)	中国開教時的聖母会	上海, 土山湾印書館	1933
後藤 末雄	支那思想のフランス西漸 (支那文化と支那学の起源)	第一書房	1933(1939)
玉井 是博	典礼問題に関する漢文の二資料	『市村博士古稀記念東洋 史論叢』	1933
	徐匯紀略	上海, 土山湾印書館	1933
徳 礼賢	中国天主教伝教史	商務印書館	1934
後藤 末雄	西洋人の観たる支那	『岩波講座, 東洋思潮』 (岩波書店)	1934



- |                           |                                   |                   |      |
|---------------------------|-----------------------------------|-------------------|------|
| 後藤 末雄                     | 乾隆帝の西洋趣味                          | 支那25—8            | 1934 |
| 後藤 末雄                     | 東西文化の流通と孔子教の西漸——仏蘭西精神史の一側面        | 第一書房              | 1934 |
| 陳 観勝                      | 乾隆時学者対利瑪竇諸人之地理学所持の態度              | 禹貢半月刊1—8          | 1934 |
| 陳 観勝                      | 論利瑪竇之万国全図                         | 禹貢半月刊1—7          | 1934 |
| 陳 垣                       | 従教外典籍所見明末清初之天主教                   | 国立北平図書館刊8—2       | 1934 |
| 徐 宗沢(編)                   | 徐文定公逝世三百年紀念文集編                    | 上海, 土山湾印書館        | 1934 |
| 石田幹之助                     | プイステル師が「在支那耶蘇会士伝記集成」のこと           | 書誌学5—2            | 1935 |
| 五来 欣造                     | 儒教の泰西思想に及ぼせる影響                    | 啓明会(第48回講演集)      | 1935 |
| 鈴江 言一                     | 支那近世史に於ける欧州重商主義と耶蘇教会              | 満鉄調査月報15—9        | 1935 |
| 石田幹之助                     | 西教の東漸と西洋文明の伝来                     | 『世界文化史大系』(誠文堂新光社) | 1935 |
| 陳 受頤                      | 明末清初耶蘇会士の儒教観及其反応                  | 国学季刊5—2           | 1935 |
| 鮎沢信太郎                     | 南懷仁が支那に紹介した世界地理書に就て               | 地球24—5・6          | 1935 |
| 鮎沢信太郎                     | 艾儒略の職方外紀に就いて                      | 地球23—5            | 1935 |
| 鮎沢信太郎                     | 江戸時代の世界地理学史上に於ける職方外紀に就いて          | 地球24—2            | 1935 |
| 徐 景賢                      | 徐文定公訳著宗教論文集序                      | 学風5巻合訂本           | 1935 |
| 姚 宝猷                      | 基督教士輸入西洋文化考                       | 史学専刊1—2           | 1936 |
| 佐伯 好郎(講)                  | 基督教の支那伝道史上に於ける所謂典礼問題の過去及び将来       | 東方学報(東京)7         | 1936 |
| 白 維翰                      | 關於「儀礼問題」諸記載的補訂                    | 史学専刊1—3           | 1936 |
| 王 重民                      | 海外希見録——羅馬教皇致大明国国主書板片・畢方濟修齊治平頌     | 図書季刊2—1           | 1936 |
| 矢沢 利彦                     | 支那天主教と女性の問題                       | 歴史学研究6—7          | 1936 |
| 李 儼                       | 中国数学史                             | 商務印書館             | 1936 |
| 小林太市郎                     | 18世紀の仏蘭西に於ける支那観と其国思想界に及ぼせる支那の影響   | 支那学8—2・3          | 1936 |
| 中村久四郎<br>周 一良(訳)          | 利瑪竇伝                              | 禹貢半月刊5—3・4        | 1936 |
| 陳 観勝                      | 利瑪竇対中国地理学之貢献及其影響                  | 禹貢半月刊5—3・4        | 1936 |
| 洪 煨蓮                      | 考利瑪竇の世界地図                         | 禹貢半月刊5—3・4        | 1936 |
| 鮎沢信太郎                     | 利瑪竇の世界地図に就いて                      | 地球26—4            | 1936 |
| 鮎沢信太郎                     | 利瑪竇の両儀支覧図に就いて                     | 歴史教育11—7          | 1936 |
| 鮎沢信太郎                     | 月令広義所載の山海輿地全図と其の系統                | 地理学評論12—10        | 1936 |
| ヨハネス・<br>ラウレス<br>小林 珍雄(訳) | 北平北堂に於ける耶蘇会旧図書館の稀観書(殊に日本関係書類)に就いて | 歴史地理70—1・2        | 1937 |
| ヨハネス・<br>ラウレス<br>小林 珍雄(訳) | 北平北堂図書館発見の日本耶蘇会出版にかゝる7冊           | 歴史地理70—4          | 1937 |
| 矢沢 利彦                     | 庭訓根言所載の支那天主教史関係資料                 | 歴史学研究7—3          | 1937 |
| 黒田 源次                     | 皇輿全覧図について                         | 満州史学1—1           | 1937 |
| 黒田 源次                     | 再び皇輿全覧図について                       | 満州史学1—2           | 1937 |

鮎沢信太郎	利瑪竇の「四行論略」に就いて	歴史と地理31	1937
洪 煨蓮	論利瑪竇地図答鮎沢信太郎学士書	禹貢半月刊6—10	1937
小林太市郎	支那と仏蘭西美術工芸	弘文堂	1937
後藤 末雄	東西の文化流通	第一書房	1938
矢沢 利彦	「律呂正義」と徳理格	東洋音楽研究1—3	1938
費 頼之 (Aloys Pfister) 馮 承鈞 (訳)	入華耶蘇会士列伝	商務印書館	1938
徐 宗沢	中国天主教伝教史概論	上海, 聖教雜誌社	1938
陳 垣	湯若望与木陳忞	輔仁学誌7—1・2合刊	1938
小林太市郎	支那思想とフランス	弘文堂	1939
小林太市郎	耶蘇会士ダントルコール神父伝	支那学9—3	1939
伯 希和 陸 翔 (訳)	晩明天主教士ト弥格為永曆皇太后奉使羅馬事略	説文月刊1—10・11	1939
矢沢 利彦	嘉慶十年の天主教禁圧	東亜論叢1	1939
吉川	[評]	史学雑誌50—4	1939
矢沢 利彦	貴州天主教史に関する一史料	東洋学報26—2	1939
吉川	[評]	史学雑誌50—4	1939
小林太市郎	支那思想とフランス	弘文堂	1939
Joy, T.J. 毛 心一 (訳)	祖尼爾芬神父小伝	説文月刊1—10・11	1939
鮎沢信太郎 (講)	大連図書館所蔵南懷仁の坤輿図説について	史潮9—4	1939
西村 貞	日本耶蘇会の絵画活動と明末支那の洋画	美術研究9—1	1940
矢沢 利彦	嘉慶十六年の天主教禁圧	東洋学報27—3	1940
浦川和三郎	イエズス会の活躍振	史学19—3	1940
鮎沢信太郎	東洋地理思想史研究 (地理学史の研究)	日大三中研究会 (愛日書院) (1948)	1940
矢島 祐利	マテオ・リッチと科学	改造22—5	1940
デリア 興亜院政務部 (訳)	支那カトリック教布教史	興亜院 (興亜資料政治編10)	1940
朱 佐豪	中国聖母会攷	上海, 土山湾印書館	1940
朱 謙之	中国思想於欧州文化之影響	商務印書館	1940
鮎沢信太郎	日本文化史上における利瑪竇の世界地図 (附録: 利瑪竇作「坤輿万国全図説」)	日本大学新聞社	1941
平山 和巳	ニコラ・トリゴール著「耶蘇会士支那宣教録」	収書月報64	1941
矢沢 利彦	旧北堂没収の事情に就いて	『加藤博士還暦記念東洋史集説』	1941
矢沢 利彦 影 華 (訳)	嘉慶十年査禁天主教始末	中和月刊3—4	1942
沙不列 (Chabrie Robert) 馮 承鈞 (訳)	明末奉使羅馬教廷耶蘇会士ト弥格伝	台北, 台湾商務印書館	1941 1960

943	ブーヴェ 後藤 末雄 (訳)	康熙帝伝	生活社	1941
944	後藤 末雄	乾隆帝伝	生活社	1942
947	山田智三郎	十七・八世紀に於ける欧州美術と東亜の影響	アトリエ社	1942
947	比屋根安定	基督教史に於ける日本と支那との交渉	宗教研究 4-2・3	1942
947	石原 道博	明末清初請援羅馬始末——近世支那西力依存の前景	歴史学研究12-3	1942
949	石田幹之助	上川島とフランシスコ・ジャヴィエル	支那文化談叢	1942
949	後藤 末雄	支那思想とフランス思想との接触	支那文化談叢	1942
950	張 維華	明清間中西思想之衝突与影響	学思 1-1	1942
950	張 維華	明清間仏耶之争弁	学思 1-2	1942
950	P. M. デリア	支那(カトリック大辞典)	富山房	1942
950	鮎沢信太郎	鎖国時代の世界地理学	日大堂書店	1943
950	矢沢 利彦	康熙帝と典礼問題(1~3)	東洋学報30-1~3	1943
951	小柳司気太	利瑪竇と明末の思想界	『続東洋思想の研究』 (森北書店)	1943
951	Bernard, Henri 王 昌社 (訳)	利瑪竇司鐸和当代中国社会	東方学芸社	1943
951	聯	[評]	漢学 1	1944
951	藪内 清	支那の天文学	恒星社	1943
951	小野 忠重(編)	マテオ・リッチと支那科学	双林社	1944
951	ルイス・デ ・グスマン 新井 トシ (訳)	東方伝道史(上, 下)	(上巻) 天理時報社 (下巻) 養徳社	1944 1945
952	方 豪	中国天主教史論叢(甲集)	商務印書館(中国公教真 理学会叢書)	1944
952		[評]	図書季刊新 6-1・2	1945
953	藪内 清	近世天文学史	恒星社厚生閣	1947
954	矢沢 利彦	中国と西洋文化	中村書店	1947
954	田坂 興道	西洋暦法の東漸と回回暦法の運命	東洋学報31-2	1947
954	矢沢 利彦	清朝中期天主教事情	人文 2-2	1948
954	矢沢 利彦	マッテオ・リッチ小伝	中国 2	1948
954	麓 保孝	欧米宣教師の支那学への貢献	斯文	1948
954	横超 慧日	明末仏教と基督教との相互批判(上, 下)	大谷学報29-2~4	1949-50
955	野村 暢清	近世初期に於ける東洋ジェスイット伝道	宗教研究122	1949
955	上田 仲雄	明末宣教師伝道に関する一考察	岩手史学研究 2	1949
955	徐 宗沢(編著)	明清間耶蘇会士訳著提要	中華書局	1949
955	魏 特 (Vath Alfons S.J.) 楊 丙辰(訳)	湯若望伝(1, 2)	台北, 台湾商務印書館	1949, 60
956	矢沢 利彦	中国天主教徒と伝教者との問題	史学雑誌59-3	1950



伊東 隆夫(講)	中国天主教布教権の根拠	史学研究 4	1950
伊東 隆夫(講)	中国に於ける所謂典礼問題の解決について	史淵44	1950
伊東 隆夫	中国に於ける所謂典礼問題の解決について	史学研究記念論叢	1950
横山 英	[評]	史学研究 5	
天野元之助	徐光啓の「農政全書」と除蝗考	松山商大論集 1—4	1950
市村讚次郎	西人の東漸及び西洋文化の伝来	『東洋史統巻 4』(富山房)	1950
宮崎 市定	雍正帝——中国の独裁君主	岩波書店(岩波新書)	1950
矢沢 利彦	迫害期天主教徒の性格	『和田博士遷曆記念東洋史論叢』	1951
上田 仲雄	明季天主教伝道と三教観	岩手大学学芸学部研究年報 2	1951
上村 清延	ドイツ文学と東洋	郁文堂	1951
岩村 忍	ヴォルテール作「シナの孤児」の源流	京都大学人文科学研究所紀要 7	1952
三上 正利	康熙時代におけるゼスイットの測量事業	史淵51	1952
鮎沢信太郎	鎖国時代日本人の海外知識	開国百年記念文化事業会	1953
窪 徳忠	キリスト教の伝来と中国の習俗	東方学 6	1953
羅 光	徐光啓伝	香港公教真理学会	1953
鮎沢信太郎	マテオ・リッチの世界図に関する史的研究——近世日本における世界地理知識の主流	横浜市立大学紀要(A—4) 18	1953
鮎沢信太郎	利瑪竇と日本	日伊文化研究19	
多賀秋五郎	艾儒略の中国教育史上における地位——西学凡を中心にして	東洋史学論集 1	1953
矢沢 利彦	リッチ史料について	東洋学報36—3	1953
矢沢 利彦	イエズス会中国布教論	歴史教育 2—10	1954
佐竹 温知	イエズス会の東洋伝道	京都女子大学紀要 6	1954
矢沢 利彦	マッテオ・リッチと文禄慶長の役	日本歴史70	1954
石原 道博	中西・中日交渉史からみた明末清初来華宣教師の文化活動	歴史教育 2—9	1954
鮎沢信太郎	熊三抜の泰西水法とその日本への伝来	東洋史学論集 3	1954
矢沢 利彦	中国伝道の開拓	埼玉大学紀要 4	1955
前嶋 信次	明末耶蘇会士活動の一断面	歴史教育 3—8	1955
木村 毅	マテオ・リッチをかいた伝記小説	学燈52—8	1955
坂野 正高	グローセ・アショフ「1844年から1846年の間における耆英とラグルネの交渉」	アジア研究 1—4	1955
矢沢 利彦	A・ロソ著「18世紀中国への教皇使節」	史学雑誌64—8	1955
張 蔭麟	明清之際西学輸入中国考略	『中国近代史論集』1—2 (正中書局)	1956
長瀬 守	明代における初期伝道に関する 2, 3 の問題	基督教史学会会報	1956
後藤 基巳	明末儒教とカトリック伝道	白百合短期大学研究紀要3	1957
金子 省治	万曆44年の南京事件について——明末における天主教迫害の一断章	上智史学 2—1	1957
佐久間 正	16世紀末支那入国に関するジェスス会宣教師の報告	横浜大学論叢(人文科学) 8—2	1957

- |  |                        |                            |              |
|--|------------------------|----------------------------|--------------|
| 鮎沢信太郎  | マテオ・リッチの両儀玄覧図について      | 地理学史研究                     | 1957         |
| 矢沢 利彦  | 西洋文献に見えた明代の科举制度        | 埼玉大学紀要(社会科学) 6巻別冊          | 1957         |
| 矢沢 利彦  | フェルビースト通信集について         | 東洋学報39—4                   | 1957         |
| 矢沢 利彦  | ジュゼッペ・カスチリョーネ(郎世寧)     | 歴史教育 6—11                  | 1958         |
| 矢沢 利彦  | 乾隆49, 50年の天主教禁圧        | 埼玉大学紀要(社会科学) 7巻別冊          | 1958         |
| 干 斌  | 天主教教義与儒家学説             | 大陸雑誌18—9                   | 1959         |
| 羅 光  | 利瑪竇伝                   | 台中, 光啓出版社                  | 1960         |
| 矢沢 利彦  | 中華思想と典礼問題              | 歴史教育 8—11                  | 1960         |
| 矢沢 利彦  | マッテオ・リッチと瞿太素           | 埼玉大学紀要・社会科学編(歴史学地理学) 8     | 1960         |
| 烏 恩溥   | 関于16・17世紀外国伝教士在中国的活動問題 | 新建設 3                      | 1960         |
| 矢沢 利彦  | 蘇努一家について               | 『和田博士古稀記念東洋史論叢』            | 1961         |
| 里井彦七郎<br>小野 信爾                               | 19世紀中国の仇教運動——植民地主義への抵抗 | 『世界の歴史(11)——ゆらぐ中華帝国』(筑摩書房) | 1961         |
| 榎 一雄   | 職方外紀の中央アジア地理           | 『和田博士古稀記念東洋史論叢』            | 1961         |
| 矢沢 利彦  | 中国読書人のキリスト教受容          | 『世界の歴史(11)——ゆらぐ中華帝国』       | 1961         |
| 林 星垣   | 徐光啓の故居及祠墓              | 文物 3                       | 1962         |
| 方 豪  | 徐光啓家書考積(上, 下)          | 大陸雑誌25—8, 9                | 1962         |
| 江蘇省文物<br>管理委員会<br>(蔡述伝執筆)                    | 徐霞客及其遺迹                | 文物 3                       | 1962         |
| フーベルト・<br>チースリク                              | 世界を歩いた伴天連——岐部神父の生涯     | 上智史学 7                     | 1962         |
| 矢沢 利彦  | 光緒永安教案史料               | 埼玉大学紀要(社会科学) 12            | 1963         |
| 榎 一雄   | 職方外紀の刊本について            | 『岩井博士古稀記念典籍論集』             | 1963         |
| 汪 雁秋(訳)                                      | 「無極天主正教真伝之正弁」考         | 大陸雑誌26—8                   | 1963         |
| 中国科学院<br>中国自然科(編)<br>学史研究室                   | 徐光啓紀念論文集               | 北京, 中華書局                   | 1963         |
| 裴化行(H.<br>Bernard)<br>蕭 濟華(訳)                | 天主教16世紀在华伝教史           | 台北, 台湾商務印書館                | 1964         |
| 戴克賽拉<br>(Fr. Teixeira,<br>Manuel)<br>徐 牧民(訳) | 耶穌会士於澳門開教四百週年          | 澳門, 台湾書局                   | 1964         |
| 趙 賓夷   | 儒道思想与天主教               | 台中, 光啓出版社                  | 1960<br>1964 |
| 方 豪  | 李之藻刻書考                 | 大陸雑誌31—11                  | 1965         |
| 海老沢有道  | 「天主実義」雑考——特に日本との関連において | 史苑26—2・3                   | 1966         |



- |                               |  |                         |              |
|-------------------------------|--|-------------------------|--------------|
| 方 豪                           | 李之藻研究  | 台北, 台湾商務印書館             | 1966         |
| 白晉(Bouvet Joachim)<br>馮 作民(訳) | 清康乾兩帝与天主教傳教史   | 台中, 光啓出版社               | 1966         |
| 居 蜜                           | 明末清初來華耶穌會士漢姓名考積(上, 中, 下)                             | 大陸雜誌33—3~5              | 1966         |
| 王 萍                           | 西方曆算学の輸入   | 中央研究院近代史研究所專刊17         | 1966         |
| 羅 光(編)                        | 天主教在華傳教史集  | 台南, 徵祥出版社               | 1967         |
| 方 豪                           | 中国天主教史人物伝(1, 2)                                      | 台中, 光啓出版社<br>香港, 公教真理学会 | 1967<br>1970 |
| 呂 実強                          | 偕叡理教士在艋舺初創教堂的經過                                      | 台湾文獻19—1                | 1968         |
| 船越 昭生                         | 在華イエズス会士の地図作成とその影響について                               | 東洋史研究27—4               | 1969         |
| 羅 光                           | 教廷与中国使節史(上, 下)                                       | 台北, 伝記文学出版社             | 1969         |
| 薛 光前                          | 利瑪竇对中西文化交流的貢獻  | 東西文化21                  | 1969         |
| 平山 祐弘                         | マテオ・リッチ伝(1)  | 平凡社(東洋文庫141)            | 1969         |
| 岡本 サエ                         | [評]  | 比較文学研究17                | 1970         |
| 謝 寿康                          | 天主教之組織及其与中国文化之關係                                     | 東西文化21                  | 1969         |
|                               | 從中央研究院史語所藏「聖母領報會雜鈔」論耶穌會士所倡中国人西來說                     | 『歴史語言研究所成立40周年紀念專号』下    | 1969         |
| 顧 保鶴(編著)                      | 中国天主教史大事年表   | 台中, 光啓出版社               | 1970         |
| 矢沢 利彦(編訳)                     | イエズス会士中国書簡集(1: 康熙編, 2: 雍正編, 3: 乾隆編, 4: 社会編)          | 平凡社(東洋文庫)               | 1970-73      |
| 張 奉箴                          | 鴉片戦争後我国有関天主教傳教事業之文献                                  | 輔仁学誌(法商学院之部)            | 1971         |
| 後藤 基巳(訳註)                     | 天主実義   | 明德出版社                   | 1971         |
| 存萃学社編<br>(周康變主編)              | 利瑪竇研究論集  | 崇文書店                    | 1971         |
| 矢沢 利彦                         | 西欧文明と東アジア  | 平凡社(東西文明の交流5)           | 1971         |
| 船越 昭生                         | 在華イエズス会士作成地図と領国時代の地図——「坤輿万国全図」・「康熙図」の評価・従来の研究方法をめぐって | 人文地理24—1~2              | 1972         |
| 矢沢 利彦                         | 中国とキリスト教——典礼問題                                       | 近藤出版社                   | 1972         |
| <b>2. プロテスタント</b>             |  |                         |              |
| 村岡 典嗣                         | 南里有鄰の神道思想  | 思想36                    | 1924         |
| 村岡 典嗣                         | 漢訳聖書源流考  | 『広島高等師範学校歴史地理学会々誌』      | 1927         |
| 鳥山 喜一                         | 太平天国乱の本質   | 『東方文化史叢考』               | 1935         |
| 小沢 三郎                         | 支那在留宣教師 J.L. ネヴィアスと日本との關係——神道総論・天路指南の著者              | 基督教史研究 6                | 1939         |
| 高谷 道男                         | 聖書和訳の先駆者カール・ギュツラフ                                    | 宗教研究 1—4                | 1939         |
| 木下 豊                          | ギュツラフと和訳聖書   | 収書月報42・43               | 1939         |
| 平塚 益徳                         | 伝道と教育  | 目黒書店(教育学論集)             | 1939         |
| 高谷 道男                         | モリソン号來航記   | 学燈44—2                  | 1940         |
| 平塚 益徳                         | 近代支那に於ける基督教教育の概況                                     | 興亜院                     | 1940         |



小沢 三郎	支那プロテスタント宣教師著作の切支丹禁制下に於ける日本への流入	基督教史研究 7	1940
小沢 三郎	支那に於ける Protestant Mission 漢字名索引	基督教史研究 8	1940
小沢 三郎	支那在留宣教師 S. W. ウィリアムス小伝	基督教史研究 8	1940
海老沢有道	『积教正謬』とその反響——仏教の護法排耶運動	史苑13—2	1940
富田竹二郎	支那訳聖書の一斑	支那及支那語 3—7	1941
矢島 玄亮	聖書の和漢訳に関して	書誌学17—1	1941
小沢 三郎	耶蘇教書としての「智環啓蒙」	歴史地理77—2	1941
平塚 益徳	近代支那教育文化史——第三国対支教育活動を中心として	目黒書店	1942
ハンバーグ 青木富太郎(訳)	洪秀全の幻想	生活社	1941
前田勝太郎 矢沢 利彦	支那叢報主要寄稿者列伝	GAKUTO	1941
劉 粵声(編)	香港基督教会史	香港	1941
片子沢千代松	真理易知について	聖書と神学 6	1941
玉井 茂(解説)	モリソン教育会	『支那叢報』第7巻解説	1942
玉井 茂(解説)	在華伝授実用智識会	『支那叢報』第7巻解説	1942
玉井 茂(解説)	キリスト教の「神」を現す支那語	『支那叢報』第7巻解説	1942
小沢 三郎	支那在留耶蘇教宣教師の日本文化に及ぼせる影響	史観28・29	1942
平塚 益徳	アメリカの対支教育活動に就いて	日本諸学研究報告18	1943
玉井 茂(解説)	支那のキリスト教事情	『支那叢報』第15巻解説	1944
玉井 茂(解説)	聖書の漢訳	『支那叢報』第15巻解説	1944
玉井 茂(解説)	モリソン教育会の第8回年報	『支那叢報』第15巻解説	1944
小沢 三郎	幕末明治耶蘇教史研究	亜細亜書房	1944
宮川 尚志	初期太平天国の宗教性	人文科学 1—3	1946
牧田 諦亮	エドキンスと徹底	仏教論叢 1	1947
溝口 靖夫	近代中国の形成と基督教	基督教文化16	1947
志賀 正年	聖經翻訳方法論考——新約華訳を中心として	天理大学学报 1—2・3	1949
石原 謙	中国伝道の開拓者	東京女子大学論集 1—1	1950
戴存義暨夫人 胡 宣明(節訳)	戴徳生伝	内地会出版	1950
海老沢有道	幕末における基督教科学書の出版	基督教史学 1	1951
市古 宙三	太平天国の讚美詩	『和田博士還暦記念東洋史論叢』	1951
志賀 正年	華訳聖經を通して見たる「神」考	天理大学学报 8	1952
市古 宙三	拝上考——太平天国制度管見	お茶の水女子大学人文科学紀要 1	1952
宮原 兎一(講)	英華学堂の教育——中国におけるプロテスタント伝道の一端	基督教史学 3	1953
石原 謙(講)	中国プロテスタント・キリスト教伝道史における時代区分について	宗教研究137	1953

石原 謙	中国プロテスタント宣教史——概観と時代区分	東京女子大学論集 4	1953
相原 良一	米船モリソン号渡来の研究	野人社	1954
鄭 天挺	馬礼遜父子	歴史教学38	1954
ハドソン・ テラー 岡藤 丑彦 (訳)	回想	三一書店	1954
田中 正美	新教中国伝道の開拓とイギリス東印度会社	東洋史学論集 2	1954
後藤 基巳 (講)	洪秀全の「幻想」について	東京支那学会報大会臨時 号 (昭和29年度)	1954
束 世激	洪秀全	上海, 新知識出版社	1955
吉田 寅	張遠両友相論考——中国新教伝道開始の一側面	基督教史学 6	1955
吉田 寅	天道溯原とその普及	史潮61	1956
志賀 正年	華訳聖經の比喩性について	日本文化36	1956
簡 又文 (編)	中国基督教的開山事業	香港	1956
	ハドソン・テラー	聖書図書刊行会編集部	1956
吉田 寅	諭道伝とその説話——中国新教文書伝道の一資料	基督教史学 8	1958
麦沾思 胡 簪雲 (訳)	梁発伝	基督教輔教出版社	1959
井門富二夫	東亜伝道と清教徒精神——我国プロテスタントの主体性について	宗教研究34—1	1960
吉田 寅	天道溯原の研究(稿)——19世紀東亜キリスト教史の一研究・附 天道溯原訳註(上)	東京教育大学東洋史学研 究室アジア史研究会	1960
石原 謙	東洋におけるプロテスタント・キリスト教の歴史的な理解について	アジア文化研究 2	1960
吉田 寅	格物探原と十九世紀の東亜キリスト教	基督教史学11	1961
吉田 寅	英華学堂の一考察——中国新教伝道開拓期における学校教育	しろがね 2	1962
平塚 益徳	英華学堂考	九州大学教育学部紀要第 8集	1962
簡 又文	太平天国典制通考	簡氏猛進書屋	1958
河鱈 源治	[評]	東洋学報44—4	1962
志賀 正年	中文“聖歌”(Hymn)の楽律研究	中文研究 2	1962
吉田 寅	天道溯原の諸版本について	プロテスタント史研究 3	1963
平塚 益徳	瑪礼遜学校考	『日本の教育史学』(教 育史学会紀要第6集)	1963
吉田 寅	中国新教伝道の開拓と宣教師の中国文布教書	東京学芸大学附属高校研 究紀要 1	1963
吉田 寅	梁阿発とその中国文布教書	基督教史学13	1963
吉田 寅(講)	韋廉臣 A. Williamson の「基督実録」について	基督教史学13	1963
寛 三郎	漢訳「新約全書」中に現はれた譬喩・譬話に就いて	麗沢大学紀要外国語篇 3	1964
鄧 嗣禹	「勸世良言」与太平天国革命之關係(上, 下)	大陸雑誌30—8, 9	1965
吉田 寅	地球説略と反キリスト教運動	東京学芸大学附属高校研 究紀要 3	1965
矢沢 利彦	グリフィス・ジョンおぼえがき	駿台史学18	1966

- |    |                         |                                    |                  |      |
|----|-------------------------|------------------------------------|------------------|------|
| 53 | 吉田 寅                    | 「勸世良言」考——19世紀中国キリスト教布教書の一考察        | キリスト教史学17        | 1966 |
| 54 | 森岡 健二                   | 委員会和訳聖書の文体と漢訳聖書                    | キリスト教と文化2        | 1966 |
| 54 | 深沢 秀男(講)                | 太平天国の宗教についての一考察——キリスト教との関連における     | キリスト教史学18        | 1966 |
| 54 | 矢沢 利彦                   | 最初の漢訳聖書について                        | 近代中国研究センター彙報9    | 1967 |
| 54 | 吉田 寅                    | 「閑邪存誠」と中国文布教書                      | キリスト教史学20        | 1967 |
| 54 | 富倉 光雄                   | 太平天国の宗教思想についての一考察                  | 宗教研究193          | 1967 |
| 55 | 張 振玉                    | 十三部経書の英訳人, 漢学家理雅各先生                | 中外雑誌1—2          | 1967 |
| 55 | 閻 振瀛                    | 理雅各与中国經典之翻訳                        | 東方雑誌復刊2—5        |      |
| 56 | 西川喜久子                   | 太平天国と宗教                            | 大修館(中国文化叢書6)     | 1967 |
| 56 | 池田 清                    | 太平天国の宗教思想——洪秀全の基督教思想受容についての一考察     | 中国農民戦争史研究2       | 1968 |
| 56 | 富倉 光雄                   | 洪秀全における道統思想について                    | 宗教研究194          | 1968 |
| 56 | 志賀 正年                   | 中国語訳聖書の史的考察                        | やまと文化49          | 1968 |
| 58 | 村上 嘉英                   | 白話字の変遷と閩南語訳聖書——プロテスタント文書伝道についての覚書  | やまと文化48          | 1968 |
| 59 | 蔡 武                     | 談談「察世俗毎月統記伝」——現代中文期刊第一種            | 国立中央図書館館刊・新1     | 1968 |
| 60 | 矢崎 健一                   | 中国語祈禱書小史                           | 宗教研究197          | 1968 |
| 60 | 吉田 寅                    | 天道溯原の諸資料について                       | 東京学芸大学附属高校研究紀要7  | 1969 |
| 60 | 杜 祖貽                    | 京師大学堂的成立経過と早期発展                    | 東方雑誌復刊12—9       | 1969 |
| 61 | 吉田 寅(校訂)                | 弾邪半百則——幕末期の一破邪資料                   | キリスト教史学23        | 1970 |
| 62 | 志賀 正年                   | 中文訳聖書の訳語研究——特に<信心>(信仰)を対象として       | 天理大学学報65         | 1970 |
| 62 | 林 治平                    | 基督教与中国近代化論集                        | 台湾商務印書館(人人文庫)    | 1970 |
| 58 | 頼 光臨                    | 万国公報之言論と影響                         | 国立政治大学学報22       | 1970 |
| 62 | 吉田 寅                    | 太平天国とキリスト教                         | 歴史リサーチ24         | 1971 |
| 62 | 吉田 寅(講)                 | W. A. P. マルティン(丁韞良)の生涯とその中国文布教書    | キリスト教史学26        | 1972 |
| 63 | 吉田 寅(校訂)                | 両友相論(1)——明治初年における中国キリスト教書と訳版の一形態   | 東京学芸大学附属高校研究紀要10 | 1973 |
| 63 | 3. 宣教師の文化事業・反キリスト教運動, 他 |                                    |                  |      |
| 63 | 矢野 仁一                   | 支那人民の排外的精神殊に基督教に対する嫌悪の情は竟に変移する途なき乎 | 外交時報55           | 1902 |
| 63 | 煙山専太郎                   | 清国改正条約上宣教師問題                       | 外交時報71           | 1903 |
| 63 | 堀 謙徳                    | 山東半島のキリスト教                         | 竜谷史壇180          | 1916 |
| 63 | 斎藤 良衛                   | 支那に於ける米国宣教師の活動                     | 外交時報309          | 1917 |
| 64 |                         | 在支外人の医療事業                          | 支那9—4            | 1918 |
| 65 | 山口 昇                    | 支那と米国との関係                          | 上海佐原研究室          | 1917 |
| 65 | 田中 広吉                   | 在支外人の支那教化運動と其動機                    | 哲学研究5—2          | 1920 |
| 66 | 山口 昇                    | 欧米人の支那に於ける文化事業                     | 上海, 日本堂書店        | 1921 |

飯河 道雄	支那に於ける外人の文化事業論	大阪屋号書店	1923
矢野 仁一	支那に於ける西洋学	『近代支那論』(弘文堂)	1923
	欧米人の支那に於ける文化事業	外務省	1925
矢野 仁一	支那近代に於ける政治経済宗教上の変動	『近代支那の政治及文化』 (イデア書院)	1926
衛藤 利夫	牛荘に於ける聖バーンズの死	東亜1—5	1928
張 維華	南京教案始末	齊大月刊1—2・3	1930
甘粕 石介	支那におけるキリスト教排斥運動	宗教研究9—1	1932
野村 政光	天津教案に就いて	史林20—1	1935
外務省文化 事業部	満州及び支那に於ける欧米人の文化事業	外務省	1938
東亜研究所	英国の対支文化事業	東亜研究所	1939
満鉄北支事 務局調査部	支那に於けるミッションの文化事業調査	満鉄北支事務局	1939
百瀬 弘 沼田 頼雄	近代支那と英吉利	螢雪書院	1940
東亜研究所	米国系プロテスタント教団の文化事業	東亜研究所	1940
東亜研究所	日本の在支文化事業	東亜研究所	1940
ハロルド・ バルム 丸山 仁夫(訳)	支那と近代医学——支那医療伝道史	新生堂	1941
呉 盛穂 陳 増輝(編)	教案史料編目	燕京大学宗教学院	1941
市古	[評]		
玉井 茂(解説)	支那医療伝道会	『支那叢報』第7巻解説	1942
丸山 仁夫	支那の医療伝道に就いて	支那33—11	1942
内藤順太郎	支那とフリーメーソン	国民社	1943
植田 捷雄	支那の外国宣教師の地位	外交時報107—6	1943
菊池 租	欧米諸国対支文化事業調査報告——特に華北に於ける基督教伝 導会事業を中心として	国際文化振興会	1943
E. R. ヒュ ーズ 魚返 善雄(訳補)	西洋文化の支那侵略史	大阪屋号書店	1944
玉井 茂(解説)	支那の医療伝道	『支那叢報』第15巻解説	1944
深谷 忠政	支那伝道政策	日本文化23	1944
植田 捷雄	支那に於ける基督教宣教師の法律的地位	東洋文化研究所紀要1	1944
王 文杰	中国近世史上的教案	私立福建協和大学中国文 化研究会	1947
市古 宙三	義和拳の性格	『近代中国研究』(好学社) (「近代中国の政治と社会」)	1948
市古 宙三	義和拳雑考	東亜論叢6(「近代中国 の政治と社会」)	1948
菊池 貴晴	広学会と変法運動(序)——広学会の設立について	東洋史学論集1	1953
菊池 貴晴	広学会の中国変法運動に与えたる影響について——変法自強の 一考察	歴史5	1953

- |          |                               |                    |         |
|----------|-------------------------------|--------------------|---------|
| 里井彦七郎(等) | (共同研究) 19世紀中国仇教運動の一側面(上, 中)   | 東洋史研究13—1・2, 4     | 1954    |
| 賈逸君      | 關於滿清政府处理天津教案的一個考証             | 歴史教学42             | 1954    |
| 耘農       | 記強学会                          | 民主潮6—2             | 1956    |
| 矢沢利彦(講)  | 排外暴動の原因に関する諸説——1891年の事件を中心として | 近代中国研究委員会報2        | 1956    |
| 銭穆       | 儒釈耶回各家關於神靈魂魄之見解               | 学術季刊5—3            | 1957    |
| 柴立節(連馥)  | 庚子教会華人流血人                     | 香港, 宣道書局           | 1957    |
| 陳慶升      | 広学会的性質及其与維新運動的關係              | 史学月刊10             | 1958    |
| 矢沢利彦     | 長江流域教案の一考案                    | 『近代中国研究』1          | 1958    |
| 楊世驥(整理)  | 周漢与反洋教闘争(附洪詞)                 | 湖南歴史資料4            | 1958    |
| 宮川尚志     | 清末教案総考                        | 岡山大学法文学部学術紀要14     | 1960    |
| 矢沢利彦     | 長江流域教案の研究                     | 『近代中国研究』4          | 1960    |
| 趙宗誠      | 対艾小惠“重慶教案”一文の幾点意見             | 史学月刊1              | 1960    |
| 吉田寅      | 中国伝道時代のヘボン博士資料                | しろがね1              | 1961    |
| 何兆武      | 広学会的西学与維新派                    | 歴史研究4              | 1961    |
| 原田正己     | 清末思想家の「西学」受容の一面               | フィロソフィア41          | 1961    |
| 宮川尚志     | 清季教案総考                        | 『第2届亞州歴史学会議論文集』    | 1962    |
| 李時岳      | 反洋教運動                         | 北京, 三聯書店           | 1962    |
| 佐々木正哉    | 同治年間教案及び重慶教案資料(上, 下)          | 東洋学報46—3, 4        | 1963—64 |
| 矢沢利彦     | 光緒永安教案史料                      | 埼玉大学紀要(社会科学篇)12    | 1963    |
| 長門谷洋治(講) | アメリカの東洋における初期の医療伝道            | 基督教史学13            | 1963    |
| 賈逸君      | 1870年の天津教案                    | 歴史教学11・12          | 1964    |
| 深沢秀男(講)  | 中国近代政治思想史上におけるテモシー・リチャードの役割   | キリスト教史学14          | 1964    |
| 杜永鎮      | 美国在華伝教士執行美帝国主義殖民政策的罪証         | 文物11               | 1964    |
| 佐々木正哉    | 1893年福建惠安県教案資料                | 東洋学報48—1           | 1965    |
| 呂実強      | 中国官紳反教的原因(1860~1874)          | 台北, 精華印書館          | 1966    |
| 小野信爾     | 清末の仇教運動                       | 大修館(中国文化叢書6)       | 1967    |
| 李恩涵      | 咸豊年間反基督教的言論                   | 清華学報6—1・2          | 1967    |
| 李恩涵      | 同治年間反基督教的言論(1~4)              | 大陸雜誌35—3~6         | 1967    |
| 深沢秀男     | 変法運動と学会(上, 下)                 | 四国学院大学文化学会論集13, 14 | 1968    |
| 深沢秀男(講)  | ティモシー・リチャードの伝道者としての役割         | キリスト教史学21          | 1968    |
| 里井彦七郎    | 義和団運動                         | 岩波講座『世界歴史』22       | 1969    |
| 羅香林      | 中国族譜所記基督教之伝播与近代中国之關係          | 東方文化7—1            | 1969    |
| 深沢秀男     | 変法運動と北京強学会                    | 四国学院大学文化学会論集15     | 1969    |

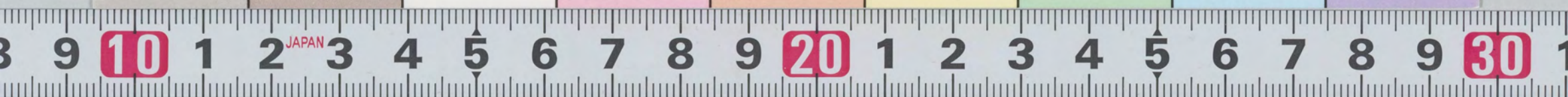
容 閔 百瀬 弘(訳注)	西学東漸記——容閔自伝	平凡社(東洋文庫136)	1969
深沢 秀男(講)	変法運動と不纏足会	キリスト教史学23	1970
市古 宙三	近代中国の政治と社会	東京大学出版会	1971
深沢 秀男(講)	万国公報とテイモシー・リチャード	キリスト教史学26	1972
里井彦七郎	近代中国における民衆運動とその思想	東京大学出版会	1972

### V 現代中国とキリスト教

清水 安三	支那基督教史論	北京週報93~96	1913-14
	支那に於ける基督教の伝道	支那6-9~11	1915
	支那のローマン・カトリック教徒数	支那9-19	1918
外務省通商 局(編)	支那に於ける欧米人の建設物調査	『支那に於ける欧米人の 発展状況』(外務省通商局)	1921
	支那に於けるキリスト教	外事警察報27	1923
羅 運炎	基督教与新中国	上海	1923
	米国の支那に於ける基督教宣伝の解剖	外事警察報29	1924
洪 煥蓮	条約修改与伝教保護之問題	生命6-4	1925
中国青年社 ・非基督教 同盟	反对基督教運動	国光書店	1925
誠 静怡	本色教会之商榷	文社月刊1-1	1925
王 治心	如何使基督教文字打到社会的中心	文社月刊1-2	1925
劉 廷芳	為本色教会研究中華民族宗教經驗的一個草案	真理与生命1	1926
徐 宝謙	反基督教運動与吾人今後应採之方針	生命6-5	1926
王 治心	中華基督教徒之本色家庭生活	文社月刊1-7	1926
王 治心	本色教会应創何種節期適合中国固有的風俗	文社月刊1-6	1926
王 治心	本色教会の婚喪礼儀議	文社月刊1-6	1926
王 治心	本色教会与本色著作	文社月刊1-6	1926
応 元道	近五年来中国基督教思想之時代背景及其内容之大概	文社月刊1-9・10	1926
楊 程	中国的基督教	文社月刊1-7	1926
明 観生	李佳白のギルバート・リード氏	北京週報207	1926
清水 安三	支那の反基運動の一考察	北京週報243	1927
根岸由太郎	支那の反基運動に就て	北京週報241	1927
許 仕廉	北京社会運動と基督教徒	北京週報239	1927
不見 死生	宣教師何故帰国せるか	北京週報262~3	1927
A. Wayfare	支那の伝道事業——最近20年間の変化	北京週報274~5, 277~9	1927
朱 敬一	中国郷村教会之新建設	上海	1927
許 仕廉	北京社会運動と基督教徒	真理与生命1	1927
真光雜誌(編)	批評非基督教言論彙刊全編	上海	1927

沈 嗣荏	1927年聖誕日中国基督教對於時局的宣言	文社月刊 3—1	1928
陳 筠	基督教對最近時局當有的態度和措施	文社月刊 3—3	1928
王 治心	本色教會禮拜儀式之商榷	文社月刊 3—7	1928
カーロ・フ フォルザ	支那に於ける基督教の危機	北京週報350	1929
中華基督教会	華東教會五年運動計劃	上海	1929
余 日章	基督青年會史略	上海	1929
趙 紫宸	新時代宣教法的商榷	真理与生命 5—3	1931
劉 廷芳	基督徒今日為國難的奮闘	真理与生命 6—2・3	1932
劉 廷芳	國難中教會的使命	真理与生命 6—3	1932
趙 紫宸	基督徒對於國內的農村事業最低限度的認識与行為	真理与生命 9—2	1935
徐 宝謙	全國鄉建運動之現狀与問題——赴定縣鄉村工作討論會之印象与感想	真理与生命 9—2	1935
吳 雷川	基督教与中国文化	上海, 青年協會書局	1936
沈 体蘭	基督教与救國運動	香港	1938
王 治心	如何使教會在中国文化上生根	上海	1938
招 觀海 (編)	國難特輯 (2輯)	廣州基督教聯合會國難服務委員會	1938
益世報宗教 与文化社 (編)	于斌主教抗戰言論集	香港, 真理学会	1939
興亜院政務部	基督教徒ノ活動	(興亜資料政治編 4)	1939
C. C. ピケンス	支那に於けるキスリト教々會の対回教徒工作	回教圈 3—2	1939
興 亜 院	華北に於ける基督教調査 (其ノ一)	興亜院	1940
古賀 六郎	武漢地方に於ける外人宣教師の活動狀況 (昭和14年度)	『東亜調査報告書』 (東 亜同文書院大学)	1940
吳 耀宗 (編)	基督教与新中国	上海	1940
松浦 春男	江蘇省内各都市の耶蘇教 (新教) を中心とする活動狀況	『東亜調査報告書』 (東 亜同文書院大学)	1941
鷺山第三郎	支那天主教教會の實情	福村書店	1941
沢崎 堅造	支那に於ける教會の社会性	東亜經濟論叢 1—1	1941
今井 三郎	在支米宣教師の問題——日米危機の性格	改造 23—8	1941
興亜宗教協 會	北支那における天主教の概観	(興亜宗教叢書 3)	1941
興亜院華北 連絡部	華北ニ於ケル基督教調査 (其 4 : 天主教)	(調査所調査資料107号, 文化第 2 号)	1941
宮川 尚志	徐家匯を訪ふ	東洋史研究 7—6	1942
沢崎 堅造	東亜政策と支那宗教問題	長崎書店	1942
服部 敏	臨汾近在のキリスト教団——並びに其の諸施設に就て	同仁會報 9	1942
宮川 尚志	本色教會について	東洋史研究 8—1	1943
吳 耀宗	没有人看見過上帝	上海, 青年協會書局	1943

内田 寛一	北京——ロシアのギリシヤ正教教会経営村を見る	東洋46—9	1943
華北綜合調査研究所	華北公理会調査報告書	北京	1944
趙 世光	二十年回憶——1925~1945	上海靈糧刊社	1947
斎藤 秋男	「五・三〇」とミッション・スクールについてのメモ	中国文学1—2	1947
朱 敬一	中国郷村教會的過去与将来	郷村教会9	1947
武田 清子	中共とキリスト教——現世主義の可能と限界	展望44	1949
幼方 直吉	中国の一キリスト者の告白——民の声は神の声	世界47	1949
幼方 直吉	キリスト教(現代中国辞典)	中国研究所	1950
人民出版社編輯部(編)	基督教人士的愛国運動	北京(新華時事叢刊74)	1950
ウインバー トン・T・ トーマス	中共治下の基督教会の運命	基督教文化43	1950
王 明道	五十年來	北京	1950
	教会学校紛紛發表宣言擁護政務院決定	会訊5—1	1951
	天主教人士愛国運動	北京(新華時事叢刊84)	1951
吳 耀宗	八個月來基督教三自革新運動的總結	新華月報19	1951
中国研究所(編)	中国宗教界の新動向——キリスト教の三自運動と仏教界の動き	中国資料月報46	1951
幼方 直吉	中国におけるキリスト教の動向——三自運動を中心として	基督教文化57	1951
人民出版社編輯部(編)	天津天主教革新運動的成就	北京(新華時事叢刊88)	1951
人民出版社編輯部	澈底割断基督教与美帝国主義的聯系	人民出版社	1951
吳 耀宗(編著)	基督教革新運動學習手冊	上海(新時代學習叢書第1集第11種)	1952
岡田 純一	中共の宗教政策と教会	世紀34	1952
マーク・テ ニエン 村田 春夫(訳)	たった一人の抵抗	室町出版社	1953
福地 いま	私は中国の地主だった——土地改革の体験	岩波書店(岩波新書)	1954
W. G. バー チェット 山田 坂仁(訳) 小川 修	纏足を解いた中国	岩波書店(岩波新書)	1954
ヒューレット・ ジョンソン 宇佐美誠次郎(訳)	新中国紀行——若き創造の中国	理論社	1954
矢沢 利彦	新中国に於ける教会革新運動——その資料と概況	アジア研究1—3	1955
Spellman, Francis C. 木村準之助(訳)	中共における信仰の自由——苦悩する囚われの群像	コミュニズムの諸問題25	1955
山本 澄子	1920年代に於ける中国の固有教会運動について	基督教史学会会報25	1955
山本 澄子(講)	1920年代に於けるシナのキリスト教会自立運動について	近代中国研究委員会報	1956





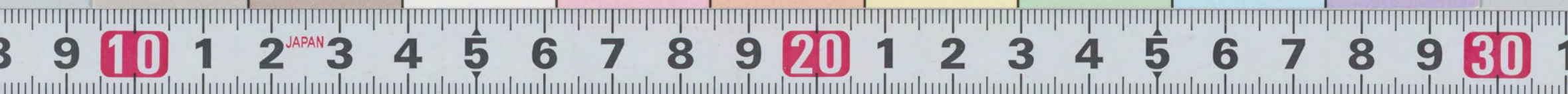
- Q. ホアン  
鹿島宗二郎 (吉田東祐) (訳) 今こそ私は言える——獄窓から見た中共 元々社 1956
- 浅野 順一 新しき国, 新しき教会——中国に使用して 日本基督教団出版部 1957
- 使節団報告書  
編集委員会 生きていた教会——日本キリスト教代表中国問安使節団報告 キリスト新聞社 1957
- 中濃 教篤 中国共産党の宗教政策 理想社 1958
- 舒 新城 中華帰主——中国近代史資料簡介 学術月刊 2 1958
- 山本 澄子 中国のキリスト教会自立運動について 『近代中国研究』 1 1958
- 山本 澄子 1920年代の反基督教運動について 史観57・58 (清水先生古稀祝賀記念号) 1960
- 山本 澄子 「基督教与中国文化」にみられる呉雷川の思想——中国におけるキリスト教思想受容の一側面 『近代中国研究』 4 1960
- 蘇 方桂 火焼天主堂——反帝闘争故事 民間文学 9 1961
- レスリ・T  
・ライアル  
海老沢良雄 (訳) 風よ吹け嵐よきたれ——中共治下のキリスト教界の真相報告 いのちのことば社 1963
- 項 退結 黎明前的中国天主教 徴祥出版社・光啓出版社 1963
- 山本 澄子 中国における基督教土着化の二つの潮流 国際基督教大学学報 1 (キリスト教と文化) 1964
- 山口 一郎 太平天国革命と毛沢東思想——とくにその「禁欲主義」について 研究 37 1966
- 山本 澄子 1930年代中国における農村伝道 アジア文化研究 4 1967
- 山本 澄子 霊恩教会——中国におけるキリスト教土着化の一側面 『福井博士頌寿記念東洋文化論集』 1969
- 于 奮 従炮制“共産主義基督教”看蘇修判徒的墮落 光明日報1969. 8. 6
- 山本 澄子 中国キリスト教史研究 東京大学出版会 1972

## VI 周辺地域のキリスト教

## 1. 満州・蒙古, 他

- 大井 二郎 羅馬カトリック満州教区の開祖ヴェロール神父 満州史学 2-2 1938
- 衛藤 利夫 鞆 満鉄社員会 1938
- クリスティー  
矢内原忠雄 (訳) 奉天三十年 (上, 下) 岩波書店 (岩波新書) 1938
- 外務省文化  
事業部 支那西北地方に於ける列国の文化的勢力 外務省 1939
- 赤松 智城 満蒙の宗教に就いて 密教研究 71 1939
- 外蒙古に於けるロシヤの宗教政策 露西亜月報 60 1939
- 満鉄総裁室  
弘報課 満州基督教苦闘史 (弘報資料 86) 1939
- 平山 政子 蒙疆カトリック大観 蒙古連合自治政府 1939
- ギルモア  
後藤 富男 (訳) 蒙古人の友となりて 生活社 1939
- 伊藤 重美 蒙疆に於けるカトリック宣教師の活動状況 (昭和14年度) 『東亜調査報告書』 (東亜同文書院大学) 1940

竹森満佐一	満州基督教史話	新生堂	1940
木下 豊	〔評〕	収書月報53	1940
赤木仁兵衛 (講)	満州に於ける基督教徒の移民に就いて	史学雑誌51—7	1940
衛藤 利夫	海城の馬欽泰	収書月報48	1940
前島 重男	内蒙古に於ける基督教——厚和を中心とする概況	内陸アジア 1	1941
沢崎 堅造	熱河烏丹に於けるカトリック村	東亜人文学報 3—3	1944
佐伯 好郎	満蒙の基督教に就て	蒙古11—3	1944
沢崎 堅造	蒙古伝道と蒙古語聖書	東亜人文学報 4—2	1945
安達 生恒	カトリック村開拓小史——内蒙古豊鎮県玫瑰営子村調査報告	自然と文化 2	1951
内藤 潮邦 (講)	内蒙古に於けるキリスト教会の大土地支配——拳匪の乱と蒙地の開放	立正史学19	1956
内藤 潮邦	内蒙古に於ける拳匪の擾乱と蒙地の開放——基督教会の大土地支配	立正史学20	1957
盧拍(Loup Robert) 侯 鴻佑 (訳)	西藏殉教者——杜仲賢神父伝	台中, 光啓出版社	1965
飯沼 二郎	熱河宣教の記録	未来社	1965
熱河会	荒野をゆく——熱河・蒙古宣教史	未来社	1967
沢崎 堅造	新の墓にて——キリスト教詩文集	未来社	1967
2. 台湾			
井上伊之助	生蕃記	警醒社書店	1926
牧尾 哲	台湾基督教伝道史	台北, 釘本印刷所	1932
石原 道博	洗礼を受けた鄭芝竜「倭寇」	歴史学研究10—10	1940
大国 督 (編)	台湾カトリック小史	杉田書店	1941
中村 哲	〔評〕	民族台湾 1—6	1941
戴 炎輝 陳 棋 曾 瓊珍	有台湾基督教兩件資料	台湾文化 6—2	1950
井上伊之助	蕃社の曙——台湾伝道の思い出	堺, ともしび社	1951
中村 孝志 頼 永祥 (訳)	17世紀西班牙人在台湾的佈教	(台北県文献叢輯 2)	1956
黄 武東 徐 謙信 (編)	台湾基督長老会歴史年譜	台南, 台湾教会公報社	1959
林 耀南 (訳)	中法戦争中一個在台伝教師の自述	台湾風物 9—1	1959
雷 一鳴	清末宣教台湾之英人——節訳南部基督教長老教会史	台湾文献 7—3・4	
井上伊之助	台湾山地伝道記	新教出版社	1960
楊 多黙	天主教来台伝教一百年簡史	高雄道明会	1960
工藤 英一	台湾・山地人社会におけるキリスト教受容——その歴史的・社会的素描	(明治学院大学)経済研究 12	1961
高 俊明	台湾の近代化とキリスト教	アジア文化研究 4	1967



## B 朝鮮

- |          |  |                     |      |
|----------|--|---------------------|------|
| 今西 竜     | 朝鮮李太王三と天主教徒虐殺                          | 歴史と地理 1—6           | 1917 |
| 朝鮮総督府    | 朝鮮の統治と基督教 (附録)[大正8年]全鮮宣教師大会陳情書         | 京城印刷所               | 1921 |
| 小田 省吾    | 李朝の朋党を略述して天主教迫害に及ぶ                     | 青丘学叢 1              | 1930 |
| 山口 正之    | 朝鮮基督教史料「己亥日記」                          | 青丘学叢 1              | 1930 |
| 山口 正之    | 日本耶蘇会宣教師セスペデスの渡鮮                       | 青丘学叢 2              | 1930 |
| 山口 正之    | 耶蘇会宣教師の入鮮計画                            | 青丘学叢 3              | 1931 |
| 山口 正之    | 耶蘇会宣教師の朝鮮俘虜救済及教化                       | 青丘学叢 4              | 1931 |
| 山口 正之    | 清朝に於ける在支欧人と朝鮮使臣——西方キリスト教文化半島<br>流伝について | 史学雑誌44—7            | 1933 |
| 楠田斧三郎    | 朝鮮天主教小史                                | 釜山, 博文堂             | 1934 |
| 山口 正之    | [評]                                    | 青丘学叢15              | 1934 |
| 中村 栄孝    | [評]                                    | 青丘学叢19              | 1935 |
| 山口 正之    | 近世朝鮮に於ける西学思想の東漸と其発展                    | 『小田先生頌寿記念朝鮮<br>論集』  | 1934 |
| 楠田斧三郎    | オッペルトの朝鮮沿岸航海と天主教関係                     | 青丘学叢15              | 1934 |
| 田川 孝三(講) | 憲宗5年に於ける天主教迫害の一考察                      | 青丘学叢20              | 1935 |
| 山口 正之    | 文禄役中朝鮮陣より発せし耶蘇教士セスペデスの書翰につきて           | 史学雑誌49—2            | 1938 |
| 山口 正之    | 朝鮮天主教印行書誌                              | 『稲葉博士還暦記念満鮮<br>史論叢』 | 1938 |
| 赤木仁兵衛(講) | 李朝純祖元年辛酉邪獄に於ける新史料に就いて                  | 史学雑誌50—7            | 1939 |
| 赤木仁兵衛    | 北京主教に宛てられた朝鮮基督教徒の書翰                    | 歴史学研究 9—5・6         | 1939 |
| 赤木仁兵衛    | 朝鮮に於ける天主教の流入と典礼問題について                  | 史学雑誌51—6~8          | 1940 |
| 石井 寿夫    | [評]                                    | 歴史学研究11             |      |
| 石井 寿夫    | 黄嗣永の帛書に就いて——朝鮮天主教徒の洋船請来の思想             | 歴史学研究10—1, 3        | 1940 |
| 石井 寿夫    | 李朝正祖朝における天主信仰の確立とその迫害                  | 基督教史研究 8            | 1940 |
| 金 孝敬     | 天主教伝来と朝鮮近世文化                           | 宗教研究 3—4            | 1941 |
| 小倉 進平    | 朝鮮の聖書翻訳                                | 文芸春秋19—2            | 1941 |
| 赤木仁兵衛    | 神父周文謨の入鮮                               | 『加藤博士還暦記念東洋<br>史集説』 | 1941 |
| 石井 寿夫    | 李太王朝の朝鮮天主教とその迫害——とくに捕盗庁謄録を素材<br>にして    | 史学雑誌52—5            | 1941 |
| 石井 寿夫    | 朝鮮天主教史における守貞の問題                        | 基督教史研究10            | 1941 |
| 赤木仁兵衛(講) | 朝鮮に於いて殉教せる私人宣教師の伝記に就いて                 | 史学雑誌53—7            | 1942 |
| 石井 寿夫    | 理学至上主義李朝への天主教の挑戦                       | 歴史学研究12—6           | 1942 |
| 石井 寿夫    | 朝鮮天主教史における女教友の問題                       | 歴史学研究12—8           | 1942 |
| 赤木仁兵衛(講) | 清朝・李朝の王族と天主教                           | 東洋史研究 8—1           | 1943 |
| 浦川和三郎    | 朝鮮殉教史                                  | 全国書房                | 1944 |

沢田 善朝	新教の朝鮮伝道——特にネピアスメソッドの採用について	日本文化24	1946
山口 正之	黄嗣永帛書の研究	全国書房	1946
山口 正之	訳註黄嗣永帛書	朝鮮学報2	1951
De Gouvea, Alexander 田中 秀央 (訳)	朝鮮に於けるキリスト教伝来報告書	朝鮮学報10	1956
柳 尚憲 川崎 肇	韓国の宗教——既成宗教に対する基督教の導入過程について	基督教史学10	1960
山口 正之	朝鮮のキリスト教	歴史教育8—11	1960
山口 正之	アンペール主教(1838年)の書翰について	朝鮮学報21・22	1961
柳 洪烈	高宗治下西学受難研究	乙酉文化社(韓国文化叢書10)	1962
山口 正之	朝鮮西教史——朝鮮キリスト教の文化史的研究	雄山閣	1967
宮原 兎一	〔評〕	史学雑誌77—3 歴史教育16—3	1968
中村 栄孝	〔評〕	朝鮮学報47	1968
呉 允台	日韓キリスト教交流史	新教出版社	1968
松尾 尊允	三・一運動と日本プロテスタント——日本プロテスタントと朝鮮(2)	思想533	1968
船越 昭生	朝鮮におけるマテオ・リッチ世界地図の影響	人文地理23—2	1971
阿部 洋	20世紀初頭の韓国におけるキリスト教主義学校	韓1—8	1972
丁 堯燮	キリスト教が韓国女性の開化に及ぼした影響	韓2—4	1973

## C 南アジア

### I インド

時野谷常三郎	印度に於ける聖トマス布教伝説の東西交通に及ぼせる影響	史学雑誌23—12	1912
讚井 潤爾	印度とキリスト教との史的関係	竜谷史壇160	1915
村田 治郎	キリスト教の教会とインド建築	仏教芸術8	1950
黒田 親	キリスト教インド伝道史話——18世紀のプロテスタント	日本文化29	1950
黒田 親	キリスト教インド伝道史話——プロテスタントの教育伝道	日本文化33	1953
黒田 親	キリスト教インド伝道史話——プロテスタントの文書事業	日本文化34	1954
伊藤 隆夫	インド=キリスト教史研究序説——とくにその問題の所在とインド思想に対するキリスト教の影響について	広島大学文学部紀要8	1960
伊東 隆夫	インドにおける Roberto de Nbili 師——インド・キリスト教史の一齣	広島大学文学部紀要21	1962
伊東 隆夫	インドにおけるシリア=キリスト教徒に関する文献	アジア・アフリカ文献調査報告88(教育11)	1964
伊東 隆夫	インドにおけるシリア=キリスト教徒の社会	広島大学文学部紀要(史学)24—2	1965

## II 東南アジア

エー・ゴル ドン	1880年代濠州在住支那人に対する布教事業	支那15—1	1924
溝口 靖夫	仏領印度支那に於けるフランスの進出と基督教	基督教史研究 8	1940
溝口 靖夫	南方基督教の諸問題——特に布教類型より観て	仏教研究 6—2・3	1942
松村 克己	南方と基督教の問題	中央公論57—10	1942
玉井 茂(解説)	シヤムにおける伝道事業	『支那叢報』第15巻解説	1944
少名子正義	基督教化以前に於ける比律賓の社会と宗教	日本文化24	1946
伊東 隆夫	フランスと印度支那半島との交渉の側面的考察——巴里公会 外国宣教会の性格について	東洋の政治経済	1949
広田 寿亮	カンボジャに於けるキリスト教——16世紀後半より18世紀初頭 まで	日本文化27	1949
中村 孝志	東インドにおけるキリスト教宣教師の学的寄与	日本文化28	1950
少名子正義	キリスト教の対フィリッピン流寓中国人伝道	日本文化28	1950
少名子正義	カトリック教化以前におけるフィリピンの社会と宗教	天理大学学報 5	1951
岩生 成一	洗礼簿を通じて見たるパタビヤの日本人	東方学 1	1951
伊東 隆夫	インドシナにおける Alexandre de Rhodes 師——カトリック 宣教師と東洋文化	広島大学文学部紀要 2	1952
長瀬 守	西班牙の対華人布教政策の変遷	基督教史学 3	1953
少名子正義	フィリッピンにおけるエンコミエンダ制と布教事業	天理大学学報 5—1	1953
長瀬 守	16—18世紀における南方地域のキリスト教	歴史教育 2—9	1954
少名子正義	仏印——カトリックの安南伝道に就いて	宗教文化研究所報 3—2	
荻原 弘明	ビルマにおけるキリスト教伝道の初期の歴史について	文科報告(史学篇 1) 4	1955
佐久間 正	1669年在比律賓ジェスス会宣教師の日本入国の努力に関する記 録	横浜大学論叢 9—3	1958
井伊玄太郎	東洋におけるキリシタンの布教とポルトガル人の政治・経済的 活動との結合	早稲田政治経済学雑誌 224・225	1970

## D 補遺

明義士(J.M. Menzies)	彙印聶克孫先生所藏青銅十字図	齊大季刊3・5合期	1935
明義士(J.M. Menzies)	青銅十字図表・青銅十字分部編次例(附)索引表	齊大季刊3・5合期	1935
佐伯 好郎 胡 立初(訳)	中国綏遠出土之万字十字架徽章	齊大季刊3・5合期	1935
陳 受頤	明末清初耶蘇会士の儒教及其反応	北京大学国学季刊 5—2	
	綏遠省百靈廟附近景教遺跡の調査に就いて	善隣協会調査月報72	1938
戴 存義 劉 翼凌(訳)	席勝魔伝	香港, 証道出版社	1959
徐 松石	基督教与中国文化	浸信会出版部	1962
徐 松石	聖經与中国文化	浸信会出版部	1965

呂 実強	義和団変乱前夕四川省的一个反教運動——光緒24年余棟臣事件	近代史研究所集刊 1	1969
呂 実強	周漢反教案	近代史研究所集刊 2	1971
王 樹槐	基督教教育会及其出版事業	近代史研究所集刊 2	1971
矢沢 利彦	イエズス会の中国布教の特色	キリシタン文化研究会 報13—4	1971
ブライアン・パウ エル 田中正美(等訳)	ヨーロッパの中国文明観	大修館書店	1971
小野 信爾	清末の仇教運動と義和団	歴史と人物 1	1972
佐藤 震二	洪秀全初期の思想	哲学年報32	1973

### 跋

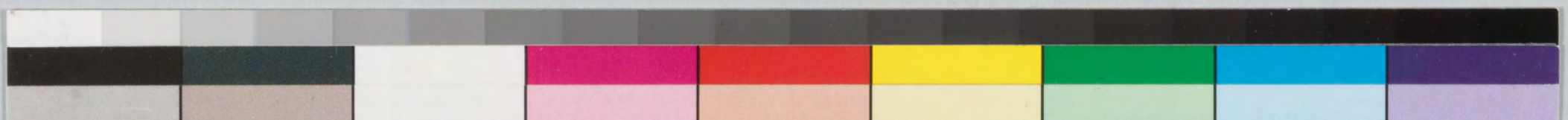
1955年に、私は「東洋基督教史論文目録(稿)」を編集し、東京教育大学文学部東洋史学研究室アジア史研究会より刊行した。同書はキリスト教史学会の要請により早急に編集したもので、不備な点の多いものであったが、幸いにもかなりの御好評をいただくことができた。しかし同書は標題の示すごとく稿本であったので、その後の調査をも加えて、より充実した目録を作成することは私の念願とするところであった。

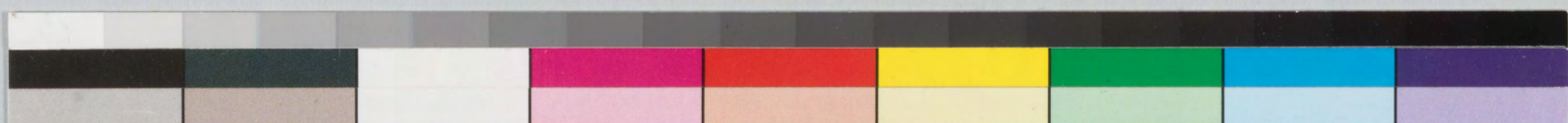
本目録はこのような立場から作成したもので、編集にあたり諸先学の御労作から色々の御教示をいただいたことを深く感謝し、心より御礼申し上げます。

なお筆者の浅学により、不備な点や誤謬なども多く、その他修正すべき箇所も多々あると思われるので、諸先学の御教導を御願ひする次第である。(1973. 7. 25記)

### 廃刊のお知らせ

資金その他の面から『近代中国研究センター集報』をこのままの形で継続発行することは難しくなりました。いずれ新しい形で再発足させたいとは思っていますが、一応『近代中国研究センター集報』は本号を以て廃刊いたします。





近代中国研究センター彙報 No. 16

1973年12月10日発行 頒価 300円

編集発行 近代中国研究センター

東京都文京区本駒込2丁目28番21号東洋文庫

